DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

(4) 調査上特に注意する事項

A 実情に即し且つ客観的にして感情的、主観的に陥る
ないで公正な判断に基づき詳細に調査する。

B 調査につそは希望、児童と、里親の半令、性格、家族の情
況、資産等総合的な立場から考察する。

(5) C 家庭の情況と里親及び家族の性格については特に注意し
て調査する。

一

三、知事元の具状（児童福祉法施行細則第十六條）

当所に於ては中坂主事が字を作成しこれを保管し一面
A 知事に具状する。

(1) 知事は二れを毎月又は隔月に開會する児童福祉審議會

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

（里親に関する小委員會）に提案して審議を求める。

四、児童福祉審議会（里親に関する小委員）の審議

(1) 児童相談所里親係がこれに出席して具体的に詳細は説明を加え審議の資料を提供する。

(2) この際可否決定の頭数には加わらないで各委員の公正な審議に俟つ。

(3) 可決、否決、保留が決定される。

保留の場合は再調査の上更に知事に具状して再審議を求める場合もある。

五、里親の登録

知事は里親の登録が完了すれば里親申込者にその旨通知する。

里親申込者は里親登録されてはじめて里親となり里子を委託される資格が生じたのである。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

六、里親委託児童の調査

(1) 里子該当児童の選定

A、措置協議會に於て里子該当児童を選定して示す里子候補者名簿に記録して置き児童は一時保護所又は養護施設に於て保護して待期させる。

B、里親係は一時保護所に一週一回、養育院、愛育園には月一回その他の養護施設を元それぞれ出張して該児童の行動観察、調査をする。

C、毎月一回各施設からは里子該当児童名簿を持来させ児童相談所からは係が里親登録者名簿を打合會を開き各里親に対する適当な候補児童を選定する。

但し随時に係が施設につき調査して該当児童を定める場合もある。

D、里親委託候補児童の選定には当分正常な心情と性

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

格をもつた児童」の條件をもつてこれに当ることとしている。

七、里親、里子の面接

(1) 里親の希望條件に適応する児童の一名乃至二名選定しておいて、期日を定めて里親に出頭させ里親係立會の上里親、里子の面接をさせるこの際、里親は成るべく里父里母同道を希望している。

面接には里親係が両者を互に紹介し次いで両者のみで十分懇談させる。

この場合豫め菓子類を準備して児童に食べさせたりし話し合いさせることが好結果をもたらすようである。

(2) 里親と里親係の懇談

(1) 面接後十分懇談して里親の意向をたゞし一方児童によつては児童の満足が否かをたゞし両者の一致したところで内定する。

茨城縣中央児童相談所

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

乳児等の場合は一方的に里親の意向で内定する。

八、児童の里親委託

(1) 里親、里子が内定すれば委託の手續として里親係が児童調査票（様式別紙）を調整する。

(2) 井坂主事は児童調査票によつて児童相談所長の意見を付して里親委託の措置について起案し知事に報告する。

児童相談所長の意見は里親係が中心となり合議してこれを定める。

(3) 児童調査票の控は里親係が里親家庭調査票を合せて里親登録簿として保管する。

(4) 知事は報告に基き「里親委託通知書」を児童相談所を経て里親に送付する。

(5) 児童相談所は里親委託通知書の写を作りこれを児

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

童指導票と共にて里親指導者児童福祉司又は児童委員に送付する。

この手續は井坂主事これを行う。

九 委託員について

里親には希望により委託員として一日につき金四四錢入義を支給することになっているが豫め里親申込の際金額希望の一部希望、全く不要の何れかを決定させる。

十 里親の指導

(1) 乳児の里親は乳児を施設から委託されたことが隣近所元知れることを嫌っている向が多いのでこれが指導は地区担当の児童福祉司にさせることにしている。

(2) その他の委託児童の里親については児童福祉司及び児童委員の何れか一人に指導させることになっている。

(3) 指導者はその指導経過を詳細に指導票に記録し更に

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

(5) 児童相談所長を報告する。

十、里親委託児童の解除

(1) 児童の養育に関し適当でないことを発見した必要な助言をなし又は里親又は児童福祉司又は児童委員に意見を具し導に当っている児童相談所長にその旨を報告する。

(2) 里親又は児童に病気その他やむを得ない事由があって児童の養育を継続し難い時は里親をして速滞なく理由を附してその旨を児童相談所長を経て知事に届出でさせる。

(3) 知事は所長及び指導者の意見に基き法第三十三條第二項第三号の解除又は措置の変更をする。

十一、里子の入籍

里親委託後六ヶ月を経過して里子の入籍を希望した場合は里親係の指導により入籍させる。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

十三、晝間里親委託について

この制度の設けられた趣旨が未だ徹底しないので取扱つてはいないが、將来幼児を抱えた母が生活の為め働かねばならない境遇にある場合自ら里親を見出しこれを相談所に申出させ、里親取扱をして一方児童福祉の為めに一方未亡人の如き母親に対し救済の手をさしのべることは目下の状況から見て緊要の問題であると信ずる。

茨城縣中央児童相談所

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

（氷見たか子 委託の場合）

一、里親申上受付　昭和三十四年一月十七日受付（第二十七号）

二、里親調査　昭和三十四年一月二十五日　青柳主事出張調査

（家庭調査に依り調査）

○里父　黒土田　金吾（三十六才）　中学九十

○里母　黒土田　光江（三十才）　高女九十

○住所　新治郡石岡町大字石岡　二〇二五

○職業　農業（石岡開拓団　組合長）

○生活状況

二町一反歩の耕地を耕作　其の他豚十五頭　鶏三〇羽位飼育

敷地一〇〇坪　主屋の外　あめ加工場等あり

又殖以来満三年　農業の立体的な経営によつて

年収　二〇万円位あり

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

○性行

里父ー明朗、常に建設的な態度温情あり
苦労人で努力型の人 幼少時養子にいって苦労
して育った人である 同情深い 果樹園の農場
経営に経験豊富
五戸余の開拓団より推されて組合長になっている

里母ー農園経営の経験あり 明るい 教養豊か
家庭的、夫婦の間に子がないので 子供を欲しがっている

○動機及希望事項

夫婦るに子がない。孤児等環境不遇児を養育したい
将来は養子縁組をしたい

右に依り里親として適切であると認められた

（青柳）

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

三、里親審議会　昭和二十四年二月十五日

児童福祉審議会に上提し全員討議の結果里親として適切なる旨可決す（宮田）

四、里親認可登録

番号第二十二号　昭和二十四年二月十五日登録（宮田）

五、里子委託

里子委託協議会の結果氷見たか子が適切である旨可決した

a、里子氷見たか子に関する事項

氏名　氷見たか子　昭和十三年七月十三日生

住所　那珂郡額田村養護施設　チルドレンズホーム内

(一)経歴

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

(一) 父不明　母の私生児　昭和十五年　肺結核で病死
以後東京露店商祖合理事　山田教治に救われて
養育されていたが　戦災で山田一族離散し　浮浪児となり
東京の施設に收容されていたが　逃亡などして　浮浪して
いた　昭和二十一年　チルドレンズ・ホーム　鈴木通夫が上野附近
で発見引取り現在まで養育していた

(二) 性行　智能
明朗、積極的、努力的　人なつこい　世話づき
智能指數九三、判断力　思考力　普通
学校で級長をしている　不良化傾向はない

(三) 身体
発育は普通であるが　やゝ胸囲が平均値より低い
ワベルクリン反応　十
レントゲン　寫眞の結果異状なし　（水戸保健所）

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

父不明　母の私生児　昭和十五年　肺結核で病死

以後東京露店商祖合理事　山田教君に救われて

養育されていたが　戦災で山田一族離散し　浮浪児となり

東京の施設に收容されていたが　逃亡などして　浮浪して

いた　昭和二十一年　チルドレンズ・ホーム　鈴木通夫が上野附近

で発見引取り現在まで養育していた

(二)性行　智能

明朗、積極的、努力的　人なつこい　世話づき

智能指數九三、判断力　思考力　普通

学校で級長をしている　不良化傾向はない

(三)身体

発育は普通であるが　やゝ胸囲が平均値より低い

ワベルクリン反応　十

レントゲン　寫眞の結果異状なし　（水戸保健所）

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

顔面やゝ蒼白なるため健康診断す　異常なきも
回虫あるため　駆除す

b、里親　里子の面接　二十四年二月二日
宮田主任　青柳主事　現養育者　鈴木通夫
参列の上　里親（墨田光江）と　里子　氷見たか子
面接し　種々懇心談す
青柳　鈴木より　里子の状況につき　詳細報告あり
結果　里親　里子　共ハ希望條件が合致し
是非養育したい旨申出あり

c、里子引取　昭和二十四年三月廿九日

d、委託命令　昭和二十四年四月一日（知事）

六、爾後経過
里子の状況極めて良好　里親も非常に嬉んでいる

茨城縣中央児童相談所

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

住田福祉司訪問指導（四月十日、五月十五日）
六、御下條曠託　家庭訪問（六月十二日）
里親と共に未託幸福な生活につき報告あり（八月二日）
七、學校でも成績優良
八、究分な愛情と適切な指導により両者幸福なり

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

吉原英明 委託の場合

一、里親申込受　昭和三十四年五月三十日受付

二、里親調査　昭和三十四年六月十一日

里父　露久保健次（五五）　村田主事　出張調査

里母　露久保すえの（五六）　農学校卒

住所　那珂郡小瀬村上小瀬二、一八〇

職業　農業　小学校卒

生活状況

山村で純農村の純朴な所　住居は建坪四〇坪衛生的環境がよい　山林五町歩　自宅で生活程度は中の上位である　里親と起居を共にする者は長男（三〇）妹（四六）の四名で家庭内の雰囲気は極めて和かである　小さい子供が居ないせいか物静かで

長女（三）縁兄（七三）

茨城県中央児童相談所

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

ひつそりしている

里父、里母の性行履歴

(イ) 里父　温厚　実直　温和である。

小瀬農学校卒業後　警視廳と茨城縣巡査拜命

退職後農業に従事す。村内の信用篤し。

(ロ) 里母　おたやかな　落ちついた　性格

八里小学校卒業後農事に従い露久保氏に嫁し二男

一女をもうけ　長男戦死　次男一女は成人し同居姪

の　のぶ子と縁兄　恩丑次郎(七三)を同居世活している

児童受託の動機

自分の子供は成長したので不過なこどもを一人位養育

したい　ゆくゆくは養子として姪　長島のぶの後継者と

した児童福祉の観点から受託しようとしている

養育の方計

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

義務教育を終らせる　養子とする（我が子同様に）の方
計である通学の余暇には家事手傳をさせる。
家事雑用　鶏舎の世話などさせ新制中学位になれ
ば簡単な農事等を家人と一緒にさせる。

三、里親審議會　昭和二十四年六月十五日
児童福祉審ぎ會に上提し全員對議の結果適當
なる旨可決す。

四、里親認可登録
番號第五三號　昭和二十四年六月十五日　登録齊

五、里子の委託
里子委託協議會の結果　吉原英明が適當であると可
決した。
里子に関する事項
氏名　吉原英明

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

住所　眞壁郡伊讃村八丁

経ノ

昭和三十四年五月三十日母の留守中に家出し取手駅前で北相馬郡寺原村石田きみ氏に発見保護されどうしても帰宅をいやがるので六月五日当所に引取保護す。

実文四年前死亡母は現住所に鶴見忠の妾ぐらしをしている本人は茨城養育院に引取られ昭和二十四年八月十日那珂郡神崎村横堀、永井豊雄氏の里子となったが願により再び養育院で引取る措置解除。

性行智能指数　IQ 92

温厚まじめ家庭の不健全から一時の家出浮浪金品持出をした。

実母、親に対して少しも愛着を感ぜず鶴見忠にはひどく使われので甚だしく同人を嫌悪している。

身体　発育普通である　ツベルクリン反応　土

茨城県中央児童相談所

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

レントゲン写眞の結果 異状なし（水戸保健所）

体型 肥満型 夜尿 時々あり

六、里親、里子の面接、 昭和二十四年十月十日

茨城養育院で里親、里子 大久保院長立會の上面接、里親については児童相談所より詳細説明 里子候補者吉原英明も悦んで納得す。

七、里子引取 昭和二十四年十月十八日

八、委託命令 昭和二十四十月二十日 番號四七號

九、爾後の経過

状況極めて良好 里親悦んでいた。里親より状況報告の来信あり 昭和二十四年十二月二十五日、小瀬村役場厚生係より

近況報告あり

1. 夜尿 遠びいたこと

2. 時々金のむだ使いをする 里親より注意されている旨

茨城県中央児童相談所

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

昭和三十五年一月十六日

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

一里親申上受付　昭和二十四年九月一日（第八十四號）

二里親調査　昭和二十四年九月二十日　宮田囑託出張調査

（家庭調査表に依り調査）

里文　宮部作之介（三十九才）　高小卒

里母　宮部あさ（二十九才）　高小卒

住所　東茨城郡磯浜町長町二九一五番地

職業　製板工場　工員

生活状態

眞面目な中流家庭　住宅も静かな丘の上にあり清楚で清潔である　里母は三畝程の農業をしている家庭円満

里親の性行

里文　宮部佐之介ー實直な勤勉家　社會的には活動しないが　會社では信頼厚く　部下の世話などよくする

里母　宮部あさ　人情深い主婦　明朗で積極的近

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

隣の評判がよい。子供がないので何よりもさびしい様子である
動機及希望事項
夫婦間に子供がないので乳児を自分の子として養育したい
右により里親として適切であると認められた。（宮田調査）

三、里親審議會　昭和二十四年十月四日
児童福祉審議會に上提し全員對議の結果里親として
適切なる旨可決す（宮田）

四、里親認可登録
番號第六十六號　昭和二十四年十月四日（知事）

五、里子委託
里子委託協議會の結果　高橋豊が適切である旨可決した。
a 里子、高松豊に関する事項
氏名　高松豊、昭和二十四年一月一日生（推定）
所所　水戸市厚生病院内育児室（乳児院）

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

経歴

昭和二十四年三月一日早朝 日立市高松台 日照 母子寮亥関前に棄てられていた。三月五日児童福祉司 市係員同道牧容保護のため来所 直ちに育児室に牧容保護した。着衣の外 所持品なく 市役市で 實父母捜査したが不明であった。牧容時の体重 四キログラム 身長 五二、七センチメートル

栄養状態は それ程悪くなかった 生後四十日位と推定された。

身体状況

育児室に於ける適切な養育により 栄発育順調 六ヶ月間の保育により 身長一四、三種増加 一日平均体重に於ては二〇瓦の増加を示し 発育順調、精神発達も普通なり。

ツ反応、陰性 梅毒反応、陰性 血液型 B型、六ヶ月間に消化不良一回あり。（海野医師）

b 措置

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

收容と同時に日立市役所に於て命名（高松 豊）
戸籍簿作成の手續をとる。

c 里親、里子の面接

昭和二十四年十一月十七日 育児室で里親里子の面接し里親より
是非養育したい旨申出あり。
（育児室係員、海野医師、宮田主任立合い）

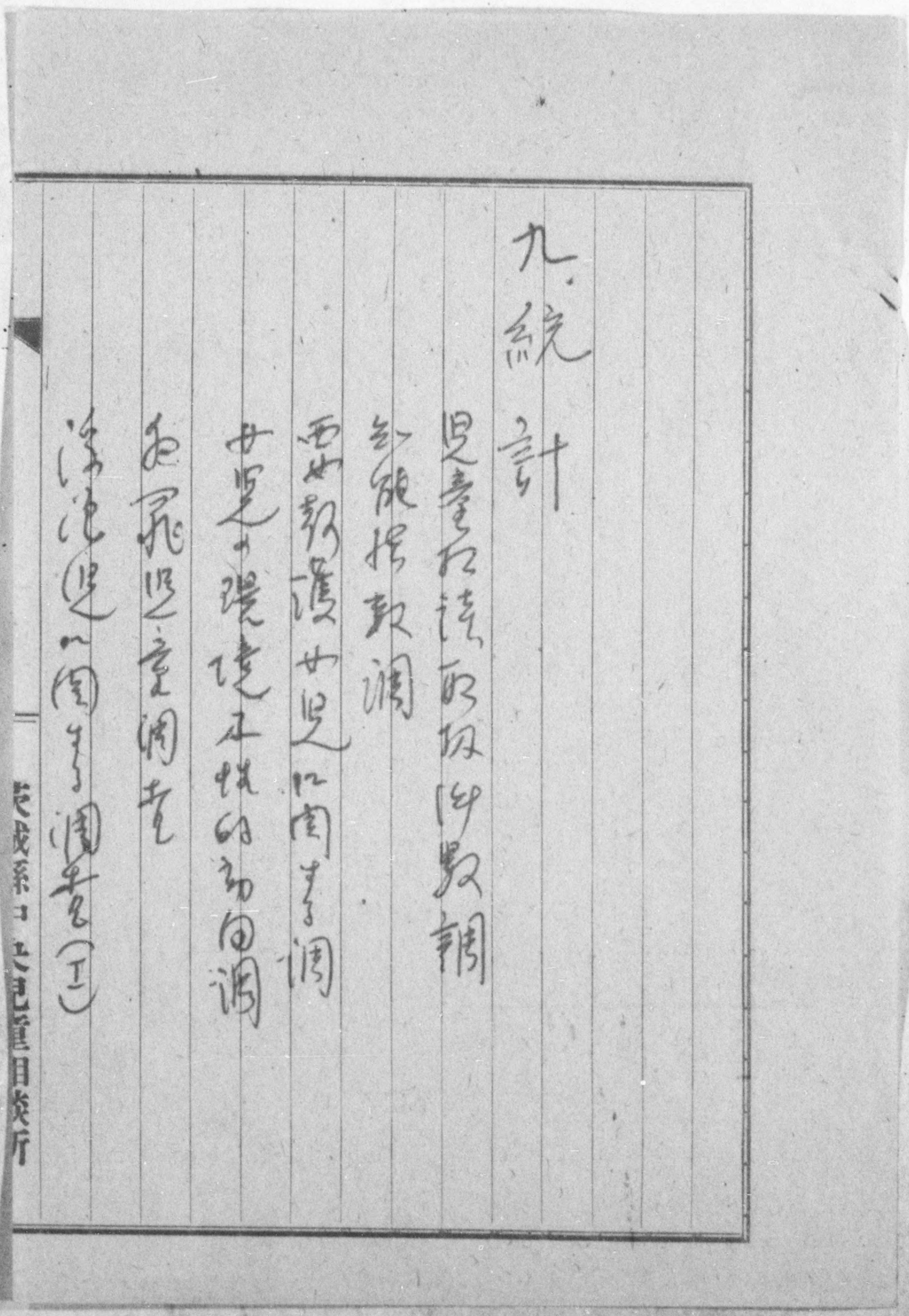
d 里子引取り 昭和二十四年十一月二十日

e 委託命令 昭和二十四年十一月二十日（第五十一號、知事）

六、爾後経過

夫婦共非常に嬉んで養育している
植本福祉司 家庭訪問指導（十二月十六日）
発育順調 幸福に養育されている。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013



九統計

兒童相談取扱件數調

知能指數調

要教護女兒以關する調

女兒の環境不性的動向調

兒罪兒童調査

法律兒以關する調査(I)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

(イ)　児童相談取扱件數調　　波城縣中央児童相談所

(ロ)　昭和23年度分(自昭和23年5月1日至24年3月31日)月別.性別取扱件數調

性別＼月別	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	百分比
男	37	47	32	40	33	5	38	24	19	65	42	381	67.2
女	12	12	9	16	20	15	9	4	13	32	43	186	32.8
計	49	59	41	56	53	20	47	28	32	97	85	567	

備考　児童以外の取扱件數 男4.女5 計9

(2)　相談種類別 性別取扱件數調

種別＼性別	一般相談						保護相談												
	幼児相談	教育相談	健康相談	適性職業相談	其の他	小計	棄児	孤児	被虐待児	貧困児	浮浪児	盲聾唖児	精神薄弱児	肢体不自由児	要療育児	要教護児	其の他	小計	合計
男	8	14	23	0	0	45	3	28	5	22	35	21	19	1	8	177	18	336	381
女	0	14	7	2	0	23	1	15	2	14	12	18	7	3	12	60	18	163	186
計	8	28	30	2	0	68	4	43	7	36	47	39	26	4	20	237	36	499	567

(3) 性別措置状況調

措置 / 性別	児童福祉司児童委員指導	収容保護						里親委託	その他	未措置	合計
		乳児院	養護施設	精神薄弱児施設	療育施設	教護院	小計				
男	171	5	54	10	1	61	131	8	66	6	381
女	121	2	21	0	1	14	38	9	17	1	186
計	292	7	75	10	2	75	169	17	82	7	567

(ロ)
(1) 月別性別取扱件数調

月別 / 性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	百分比
男	100	52	71	61	76	57	48	63	68	596	71.12
女	61	19	37	36	21	25	17	18	20	254	29.88
計	161	71	108	97	97	82	65	81	88	850	

備考 児童以外の取扱件数 男2. 女6. 計8.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

(2) 相談種類別 性別取扱件數調

種別 / 性別	一般相談						保護相談												合計
	幼児相談	教育相談	健康相談	適性職業相談	その他	小計	棄児	孤児	被虐待	貧困児	浮浪児	盲聾唖児	精神薄弱児	膝不自由児	要療育児	要教護児	その他	小計	
男	0	28	5	2	1	36	2	34	3	65	54	15	19	5	0	345	18	560	596
女	0	10	1	1	0	12	6	19	2	57	10	22	12	5	0	99	10	242	254
計	0	38	6	3	1	48	8	53	5	122	64	37	31	10	0	444	28	802	850

(3) 年令別 性別取扱件數調

年令別 / 性別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計
男	6	8	1	8	5	8	17	21	30	18	33	50	84	89	88	48	40	26	16	596
女	15	3	6	4	3	4	12	20	12	16	17	12	21	14	18	21	23	23	10	254
計	21	11	7	12	8	12	29	41	42	34	50	62	105	103	106	69	63	49	26	850

備考 20才以上 男2 女6. 計8

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

(4) 性別通告者別取扱件數調

性別＼通告者別	児童福祉司	児童委員	市町村長及吏員	学校長及職員	警察官及警察吏員	鉄道公安官	家庭裁判所	児童福祉施設長	當所員	保護者	その他	計
男	64	22	160	39	133	14	24	35	9	72	24	596
女	35	14	68	3	40	1	4	28	1	51	9	254
計	99	36	228	42	173	15	28	63	10	123	33	850

(5) 性別措置状況調

性別＼措置別	児童福祉司 児童委員指導	収容保護 乳児院	養護施設	唖児 盲聾施設	療育施設	弱児 精神導施設	教護院	小計	里親委託	其の他 禁助言輪施	逃亡	その他	小計	未措置	合計
男	183 (11)	3	95 (2)	12	1	0	44 (4)	155 (6)	23 (2)	181 (1)	27 (2)	21	229 (3)	12	602 (22)
女	33	7	75 (4)	15	2	2	3	101 (4)	13 (4)	86 (2)	4	11	101 (2)	7	255 (10)
計	216 (11)	10	167 (6)	27	3	2	47 (4)	256 (10)	36 (6)	267 (3)	31 (2)	32	330 (5)	19	857 (32)

備考 1. 前年度繰越 男6 女1 計7を含む
2. 措置2回以上の児童は2回目以後は括弧に再揚 3. 未措置には一時護児を含む

(6) 月別性別児童一時保護件数調

実延別	性別 ＼ 月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
実人員	男	52	17	21	24	23	28	20	25	10	220
	女	12	6	10	2	9	13	11	5	4	72
	計	64	23	31	26	32	41	31	30	14	292
延人員	男	549	441	375	599	694	614	575	398	492	4737
	女	172	167	193	164	164	264	366	205	129	1824
	計	721	608	568	763	858	878	941	603	621	6561

(7) 一時保護児童年令別調

性別 ＼ 年令別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	計
男	0	0	0	2	2	1	4	6	6	7	23	26	31	37	38	25	4	9	0	221
女	0	0	2	1	2	0	1	3	5	6	8	11	10	11	10	1	0	0	0	71
計	0	0	2	3	4	1	5	9	11	13	31	37	41	48	48	26	4	9	0	292

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

性別年齢別 知能指数調 昭和24年4月1日—12月31日 茨城縣中央児童相談所

智能指数	111以上			110—91			90—71			70—51			50以下			合計			百分比%
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
0歳																			
1〃																			
2〃													1		1	1		1	0.43
3〃																2	1	3	1.29
4〃							2	1	3				2		2	3	2	5	2.16
5〃				1	1	2		1	1							4	5	9	3.87
6〃				2	2	4	1	2	3	1		1		1	1	7	5	12	5.16
7〃				3	2	5	2	3	5	2		2				12	3	15	6.45
8〃	1		1	2		2	8	3	11				1		1	6	8	14	6.06
9〃	1	2	3	3	2	5	1	2	3	1	1	2		1	1	15	4	19	8.23
10〃		1	1	7	1	8	7	1	8	1	1	2				20	8	28	12.12
11〃		1	1	8	3	11	9	1	10	3	3	6				29	5	34	14.70
12〃				10		10	9	3	12	10	2	12				35	7	42	18.19
13〃				11	1	12	7	2	19	7	4	11				15	2	17	7.35
14〃	1		1	6		6	7	1	8	2	1	3				9	5	14	6.06
15〃				5	3	8		1	1	1	1	2	2		2	10	2	12	5.16
16〃				3	1	4	6	1	7	1		1				5	1	6	2.58
17〃					1	1	2		2	2		2	1		1				
合計	3	4	7	61	17	78	71	22	93	31	13	44	7	2	9	173	58	231	

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

要教護女児に関する調査

(I) 対象　月 昭和23年5月 至昭和24年7月 当所で取扱った要教護女児 122名
茨城県中央児童相談所

(II) 統計

(1) 年令階級別 性格類型別 調

年令階級＼類型	放任型	放逸型	動揺型	虚栄型	低調型	素質型	その他	計
14才以下	8	3	7	0	3	3	0	24
14才以上	23	23	22	18	6	5	1	98
計	31	26	29	18	9	8	1	122

(2) 年令階級別 知能指數調

年令階級＼知能指数	50以下	51～60	61～70	71～80	81～90	91～100	101～110	111～120	121以上	計
14才以下	3	2	3	5	3	7	1	0	0	24
14才以上	3	6	9	25	31	16	6	2	0	98
計	6	8	12	30	34	23	7	2	0	122

(3) 収容非収容別性行為有無調

性行為有無別 / 収容非収容	有	不明	無	計
施設収容児	39	10	5	54
非収容児	40	4	24	68
計	79	14	29	122
比率	64.8	21.4	23.8	

(4) 性行為と年令

年令	人員
12才	2
13才	4
14才	6
15才	13
16才	23
17才	18
18才	13
計	79

(5) 性行為の動機調

動機	好奇心と誘惑	好奇心	性的衝動	愛情	生活の為	不明	計
貧	12	18	4	5	28	7	5	79
比率	15.2	22.8	5.1	6.3	35.4	8.9	6.3	

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

(6) 性行為の対象調

対象		人員	比率
愛人		29	37
知人	近所の人	5	6
	友人	14	18
	庇護者	17	21
未知人		14	18

(7) 性行為の場所調

場所	人員	比率
旅館	27	35
自宅	4	5
相手の家	12	16
知人の家	13	17
屋外	15	19
その他	6	8

(8) 性病の有無調

性病有無		人員	比率
有	梅毒	14	17
	淋疾	27	35
	計	41	52
無		30	38
不明		8	10

(9) 性行為後の動揺調

動揺	自暴自棄となった	恐怖心をもった	大胆奔放となった	後悔した	好奇心をたかめた	復仇心をもった	愛情をたかめた	それ程変化なし	性格が暗くなった	不明	計
人員	12	4	16	23	3	7	5	4	2	3	79

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

女児の環境及び性的動向の調査

茨城県中央児童相談所

(I) 基礎　(イ) 調査期日　昭和24年9月15日
(ロ) 対象　水戸市内新制高校第二学年女生徒 177名

(II) 統計

(1) 家庭の雰囲気について

非常に満足	普通	物足りない	冷い	わからない	無記載	合計
44	92	12	2	4	23	177

(2) 叱責について

時々叱られる	殆んど叱られない	全然叱られない	無記載	合計
121	30	5	21	177

(3) 余暇の利用について

読書	映画	散歩	談話	通信	料理	スポーツ	裁縫	洗濯	生花	茶の湯	音楽	ラヂオ聴取	黙想	勝負ごと	採集	何もしない	無記載	合計
123	61	34	21	23	34	48	56	33	41	12	76	95	42	3	9	4	2	717

(4) 交友について

性別＼有無別	有	無	無記載	合計
同性	135	20	22	177
異性	72	84	21	177

(5) 交友の動機について (同性)

近隣	同校同級	信頼感	尊敬	明朗	温順	気が合う	無記載	合計
12	50	88	15	29	19	55	3	271(延)

(6) 交友の動機について (異性)

幼な友達	男らしい	指導力有	尊敬	優しい	何となく	無記載	合計
22	24	30	10	2	14	11	113(延)

(7) 初潮と年令の関係について

13才	14才	15才	16才	17才	18才	無記載
1	11	38	75	44	4	4

(8) 初潮前月経知識の有無について

充分有	稍有	殆ど無	全然無	無記載
7	118	35	13	4

(9) 月経知識の経路について

母	その他の家族	友人	先輩	読物	先生	その他	無記載
74	10	33	6	41	80	2	7

(10) 性教育は誰から指導を受けることが望ましいかについて

母	先生	医師	友人	家族	記載無	合計
71	84	34	14	3	2	218(延)

(11) 性的煩悶について

非常に多い	時々あり	無い	わからない	無記載	合計
6	90	69	2	10	178

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

犯罪児童の調査

茨城県中央児童相談所

〔I〕 対象 ……自昭和24年6月15日(少年法児童福祉法改正)至昭和24年11月30日の間警察署及び家庭裁判所より当相談所に送致せられた犯罪児童、158名につき。

〔II〕 統計 (1) 月別送致者別調.

送致者別＼月別	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	計
警察署	。	12	30	39(5)	30(8)	34(5)	145 (18)
家庭裁判所	。	。	。	3(1)	3	7	13 (1)
計	。	12	30	42(6)	33(8)	41(5)	158 (19)

備考括弧内は女子再掲

(2) 性別.年令別調

性別＼年令別	6才以下	7才	8才	9才	10才	11才	12才	13才	14才	15才	16才	17才	18才	計
男	1	2	7	9	10	9	14	23	28	23	5	4	4	139
女	0	1	0	0	3	2	1	2	6	3	0	0	1	19
計	1	3	7	9	13	11	15	25	34	26	5	4	5	158

(3) 學年別 犯行別 調

犯行別＼學年別	未就學	小一	小二	小三	小四	小五	小六	中一	中二	中三	高卒	中退	計
窃盗		1	2	9	10	13	23	22	25	8	4	3	120
詐欺								1					1
恐喝								1	1	1			3
横領						2							2
車両盗	1	3	4	4	2		1	2	2	1			19
傷害							1	1	2				4
殺人								1					1
銃砲刀剣類所持等取締法違反										1			1
暴力行為等処罰ニ関スル法律違反											1		1
失火	1	2		1	1							1	6
計	2	6	6	13	12	15	26	28	29	11	5	4	158

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

(4) 事件別 犯行態様別調

事件 / 態様	窃盗	詐欺	恐喝	横領	器物損壊	傷害	殺人	銃砲刀剣類所持等取締法違反	爆発物取締罰則違反	失火	計
単独犯行	56	1	0	2	0	1	0	1	1	2	64
集団犯行	64	0	2	0	19	3	1	0	0	4	94
計	120	1	3	2	19	4	1	1	1	6	158

(5) 性別措置状況調

措置 / 性別	訓戒誓約書等差入れ	収容保護			里親委託	一時保護	計
		教護院	養護施設	小計			
男	119	11	2	13	1	6	139
女	16	2	1	3	0	0	19
計	135	13	3	16	1	6	158

(6) 家庭状況調

両親の有無状況 / 性別	両親健在	欠損家庭									合計
		継父実母	継母実父	実母のみ	実父のみ	継父母	両親なし	(養育者内訳) 祖父母	親類	知人	小計	
男	73	23	12	10	6	2	13	(8)	(4)	(11)	66	139
女	10	2	1	3	1	1	1	(1)	(0)	(6)	9	19
計	83	25	13	13	7	3	14	(9)	(4)	(11)	75	158

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 773 013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

浮浪児に関する調査 (I)

茨城名中央児童相談所

(I) 対象　自昭和 23.5.1 至 23.12.31 に於て
當所で取扱った 70名の浮浪児

(II) 統計

(1). 性別 種類別 取扱件數調

種類別＼性別	男	女	計	百分比%
純粋	17	8	25	35.7
家出	25	20	45	64.3
計	42	28	70	

註「純粋」とは罹災孤児等家庭のないもの

(2) 性別措置状況調

措置＼性別		男	女	計	百分比%
収容保護	養護施設	7	9	16	
	教護院	5	0	5	30.0
	小計	12	9	21	
里親委託		2	0	2	2.8
送致	原住所	4	7	11	
	原施設	6	5	11	
	関係児童相談所	3	2	5	38.6
	小計	13	14	27	
逃亡		15	5	20	28.6
合計		42	28	70	

(3) 性別 浮浪状況調

浮浪状況＼性別	犯罪と貰ひ	ボス共に	生食	働きながら	性行為	浮浪癖	計
男	23	6	4	5	不明	4	42
女	11	2	1	0	10	4	28
計	34	8	5	5	10	8	70

(4) 性別 衛生狀況調

性別 / 衛生狀況	男	女	計
皮膚病	15	9	24
結核性疾患	3	0	3
眼疾	3	1	4
蛔虫	4	2	6
夜尿	6	2	8
性病	0	6	6
栄養障碍	3	0	3
普通	8	8	16
計	42	28	70

(5) 性別 浮浪原因調

性別 / 原因	男	女	計	百分比%
養育者がない	15	6	21	30
家庭が面白くない	10	4	14	20
被虐待	3	4	7	10
非行があった	4	1	5	7
漂浪癖	3	2	5	7
精神薄弱	2	4	6	9
性格異常	4	3	7	10
その他	1	4	5	7
計	42	28	70	

(6) 性別 浮浪期間調

性別 / 地域	男	女	計
一週間以内	3	4	7
一ヶ月以内	5	7	12
三ヶ月以内	4	2	6
一年以内	19	9	28
二年以内	7	6	13
二年以上	4	0	4
計	42	28	70

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

(7) 性別浮浪地域調

地域＼性別	男	女	別
家庭附近	2	2	4
縣　内	6	4	10
東京及び関東	5	10	15
関東及び東北	12	5	17
関東東北北海道	4	3	7
関東東北中部	4	1	5
関東及関西	5	3	8
全國	4	0	4
計	42	28	70

(8) 性別保護歴調査

保護歴＼性別	男	女	計
児童相談所の保護	31	17	48
警察の保護	32	11	43
駅の保護	37	19	56
一般人の保護	12	9	21
施設逃亡	29	14	43
全上すべて経験	26	12	38
全然保護なし	6	4	10

(9) 性別非行調査

非行＼性別	男	女	計
すり	26	8	34
たかり	13	2	15
盗み	36	13	49
喫煙	33	3	36
性行為	不明	10	10
もらい	42	28	70
濫費	12	5	17
無賃乗車	40	23	63
家出	12	4	16

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

職業別登録状況調

自 昭和23年度
至 昭和24年12月末日

職業＼登録状況	登録			否決	保留	未審議	計	登録数比率
	登録	解消	差引計					
農業	24	1	23	2	2	5	9	71%
商業	14	2	12	2	4	1	7	63%
工業	1		1					100%
医師								
宗教家	6		6					100%
漁業	2	1	1		1		1	50%
著述業	1		1	1		1	2	33%
理髪業	3		3	1			1	75%
官公吏	12	1	11	1	2		3	79%
会社員	7		7	1			1	88%
工員	8		8	5			5	62%
其の他	2		2		1		1	66%

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

児童委託状況調

(1) 月別委託状況調

年月 / 処理状況	昭和23年度	昭和24年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
委託	11	3	10	7	2	7	3	4	4	10	61
解除					1	5			2		8
差引計	11	3	10	7	1	2	3	4	2	10	53

（解除率 14%）

(2) 性別年令別調

年令 / 性別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計
男	1	3	2		3	2	5	2	4	1	1	2	7	6	1	1	1		42
女	3	1	1			1	1	1	1		1	3	2	2		1	1		19
計	4	4	3		3	3	6	3	5	1	2	5	9	8	1	2	2		61

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

理由＼性		男	女	計	備考
養子縁組		1		1	
保護者引取		1	2	3	(1) 孤児と称して両親があられたもの 1 (2) 数化の実があがって保護者が引取ったもの 1 (3) 保護者台湾引揚げのため引取ったもの 1
不調	児童の疾氣	1		1	
	里親に主因のあるもの	1		1	
	児童に主因のあるもの	2		2	(1) 児童が逃亡したもの 1 (2) 悪癖があ[illegible] 1
その他					
計		6	2	8	

交成系中央記憶相談所

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

茨城縣中央児童相談所機構

昭和

所長
山元 公道（二級主事）

相談係長
青柳 道雄（二級主事）

1. 係事務の統轄
2. 児童の相談鑑別
3. 事業の企劃

- 會田 萬喜夫（用務手）
  - 1. 所内の清掃整理
  - 2. その他雑務
- 村田 正博（二級主事）
  - 1. 児童の相談鑑別
  - 2. 調査及び統計
  - 3. 児童文化
- 井坂 正一（三級主事）
  - 1. 児童の相談鑑別
  - 2. 智能検査
  - 3. 措置協議會の記録
- 大森 みどり（三級主事）
  - 1. 児童の相談鑑別の予審
  - 2. 智能検査
  - 3. 事業成績の報告
  - 4. ケースその他帳簿類の整理
- 白幡 兼（二級技師）
  - 1. 児童の相談鑑別
  - 2. 精神医学的検査
  - 3. 健康相談及身体検査
  - 4. 肢体不自由児の鑑別
- 宮田 福次郎（二級相当囑託）
  - 1. 児童の相談鑑別
  - 2. 智能検査
  - 3. 里親里子に関すること
  - 4. 研究會に関すること
- 園部 力（技手）
  - 1. 医務の補助
  - 2. 児童の相談鑑別の受付

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

愛媛県中央児童相談所機構図

昭和25年1月1日 現在

所長
山元 公道(二級主事)

1. 所務の統轄
2. 所員及び児童一時保護所の監督
3. 児童の相談鑑別

庶務係長
大津 實(三級主事)

1. 係事務の統轄
2. 庶務及予算経理
3. 物品の取扱保管
4. 營繕 火気取締

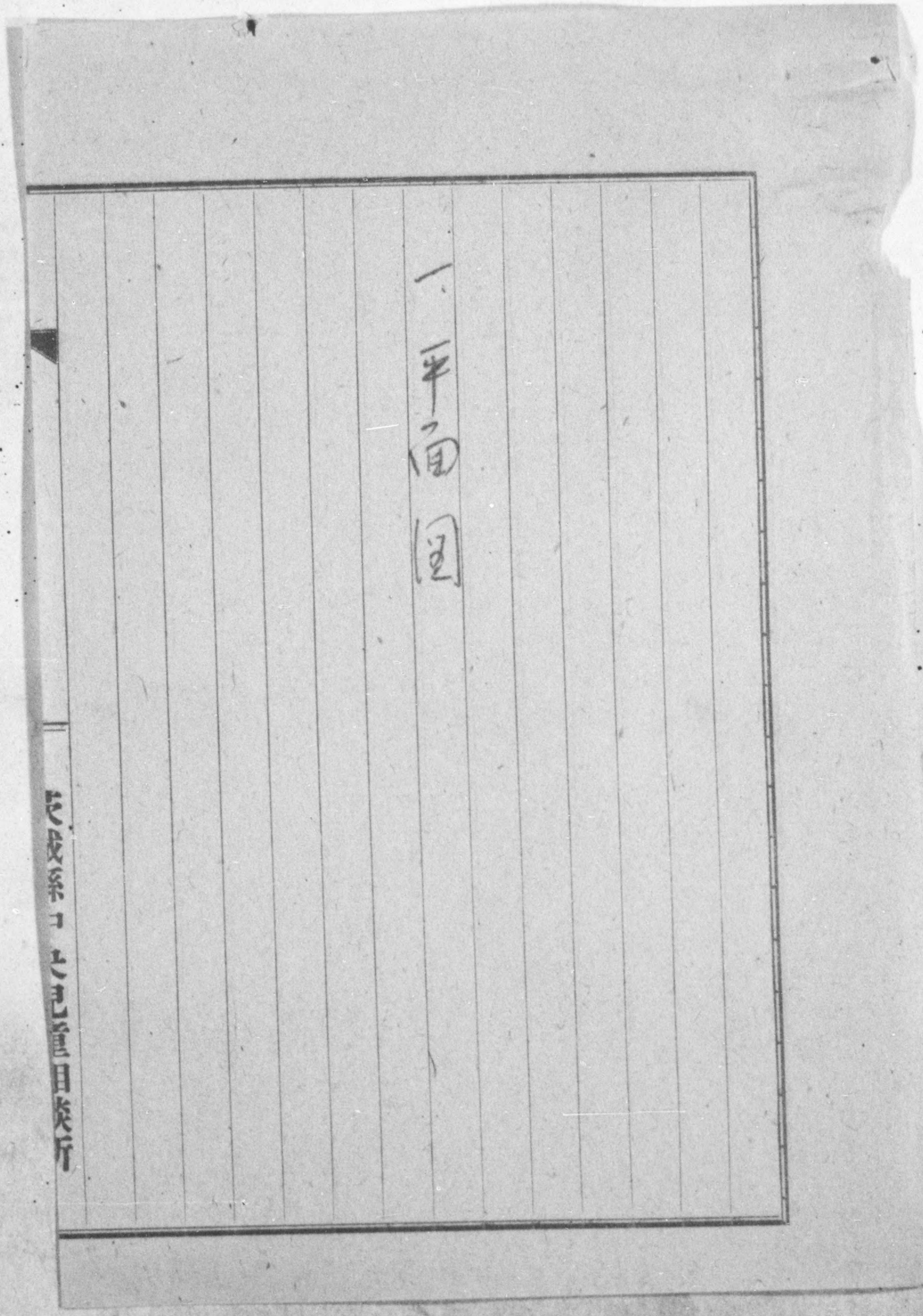
係事務の統轄
児童の相談鑑別
事業の企劃

- 下條 義雄 (三級相當嘱託)
  - 1. 文書に関すること。
  - 2. 児童一時保護所との連絡及び児童の一時保護事務
  - 3. その他 庶務
- 大森 あきの (主事補)
  - 1. 俸給給與の支給事務
  - 2. 書類の淨書
  - 3. その他庶務の補助
- 酒出 光 (事務補)
  - 1. 旅費の計算
  - 2. 書類の淨書
  - 3. その他事務補助
- 會田 萬喜夫 (用務手)
  - 1. 所内の清掃整理
  - 2. その他 雜務
- 村田 正博 (三級主事)
  - 1. 児童の相談鑑別
  - 2. 調査及び統計
  - 3. 児童文化
- 井坂 正一 (三級主事)
  - 1. 児童の相談鑑別
  - 2. 智能検査
  - 3. 措置協議會の記録

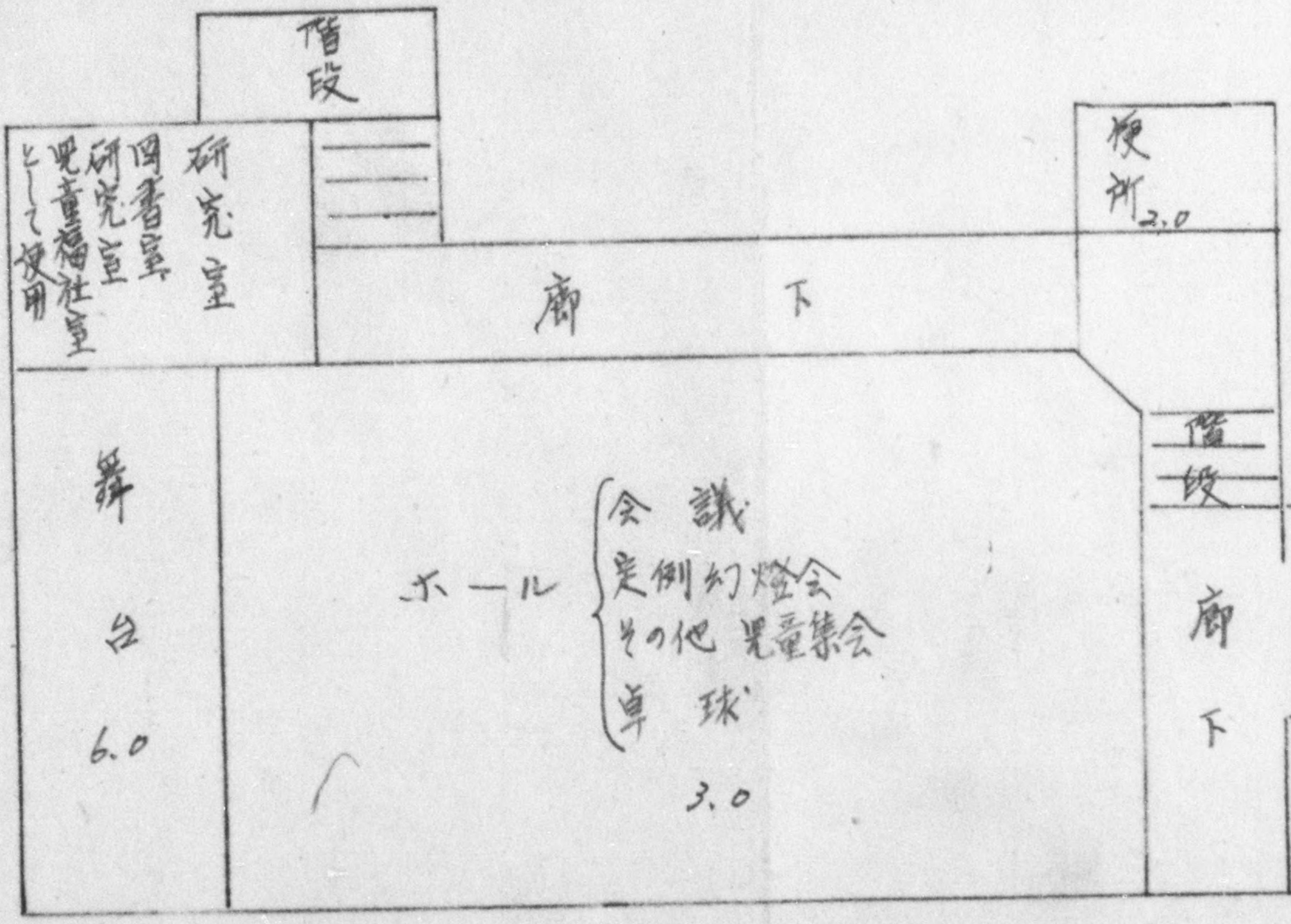
DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

五、機構圖

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

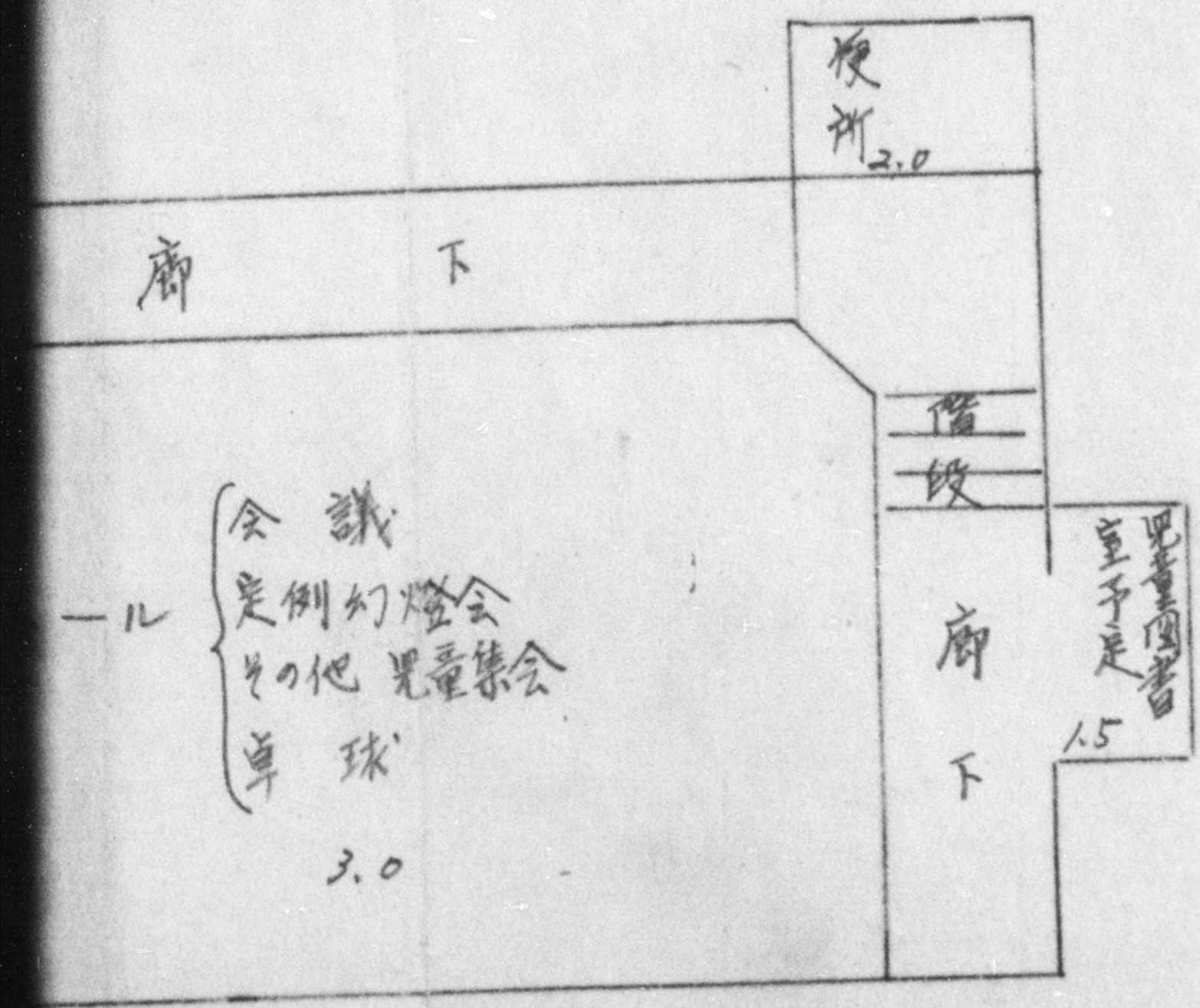


DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

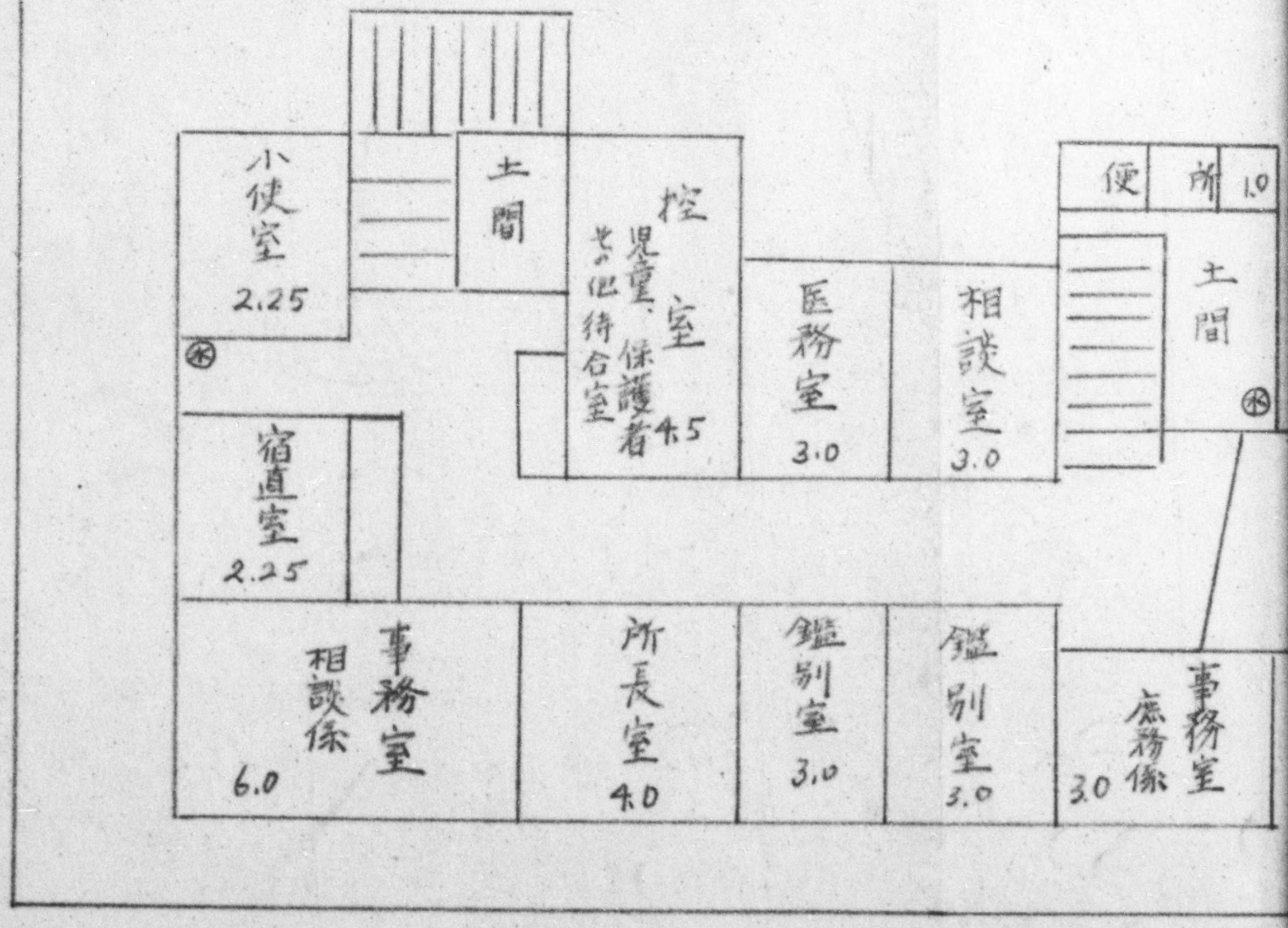


DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

茨城県中央児童相談所平面図（階上）



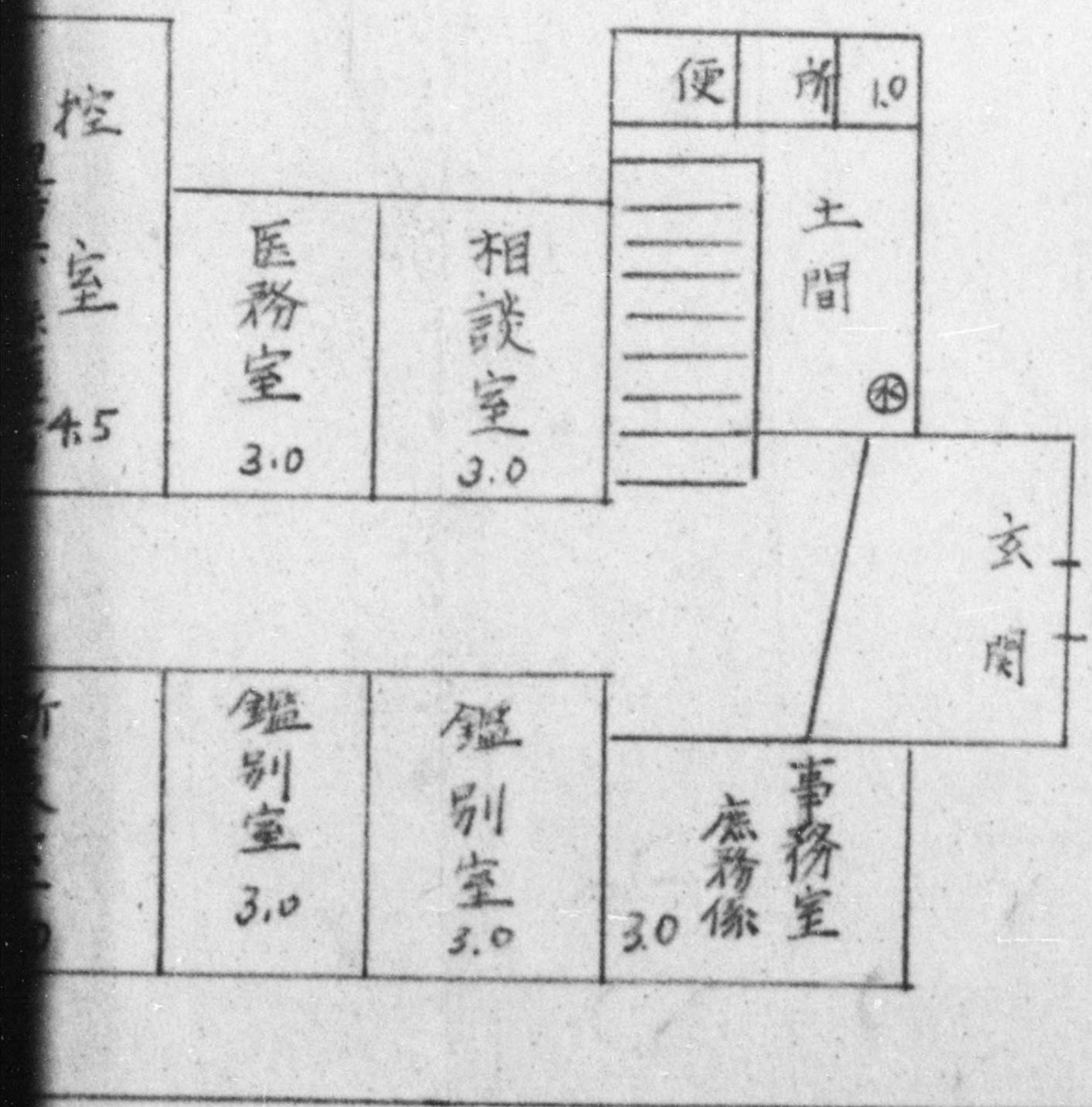
DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013



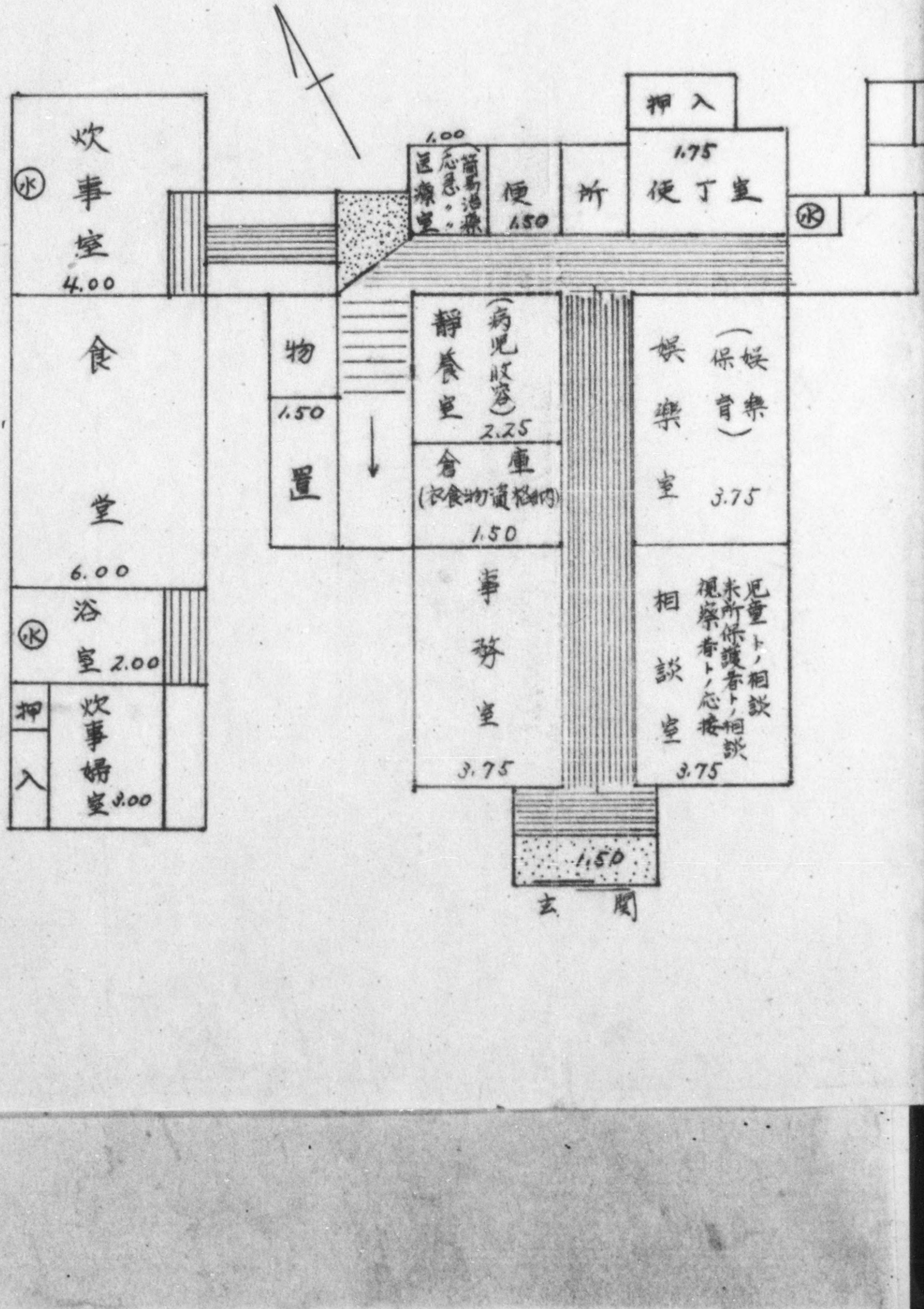
DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

茨城縣中央児童相談所平面図
(敷地及階下)

敷地 一六五坪
階下 六一坪

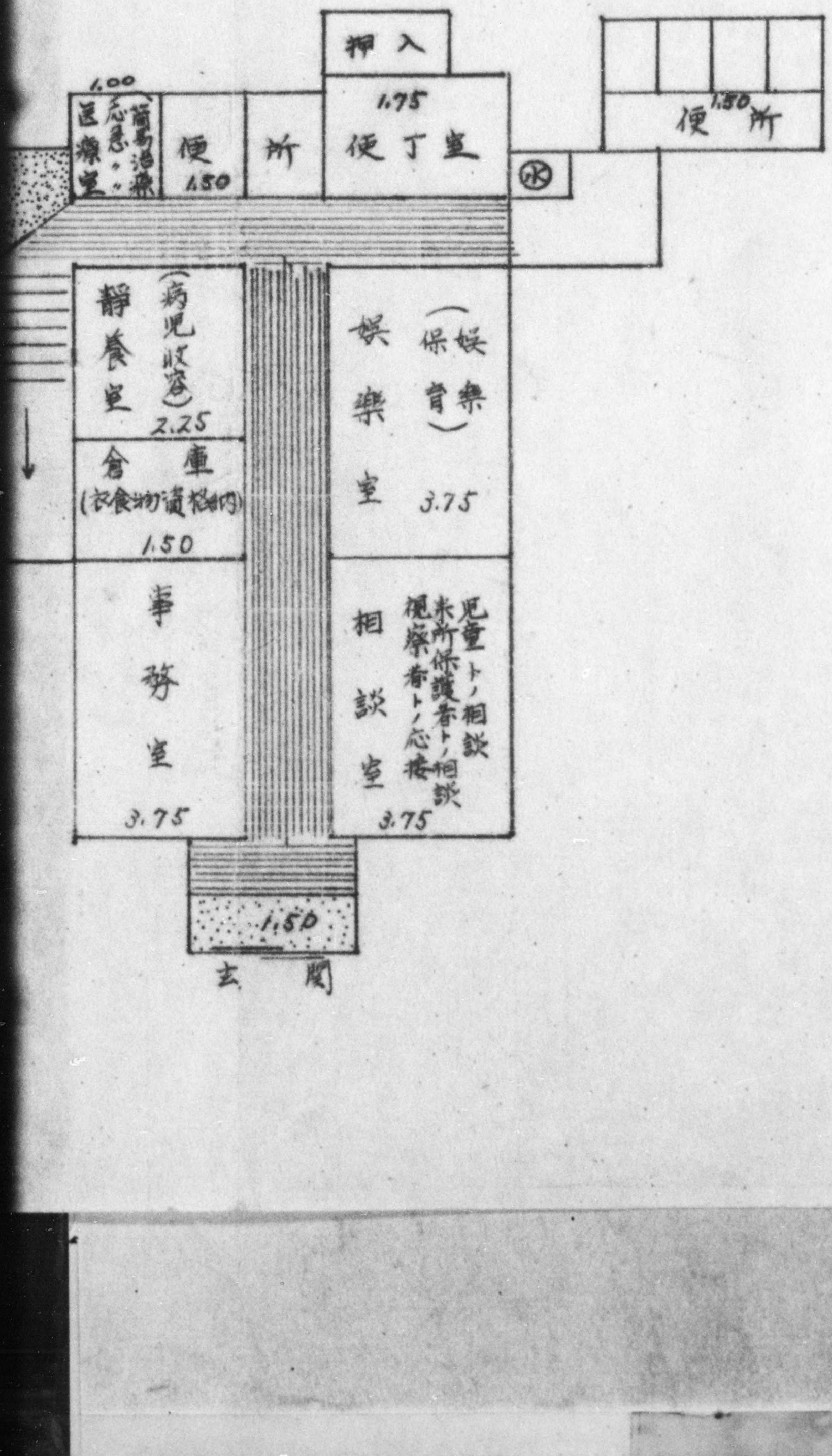


DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

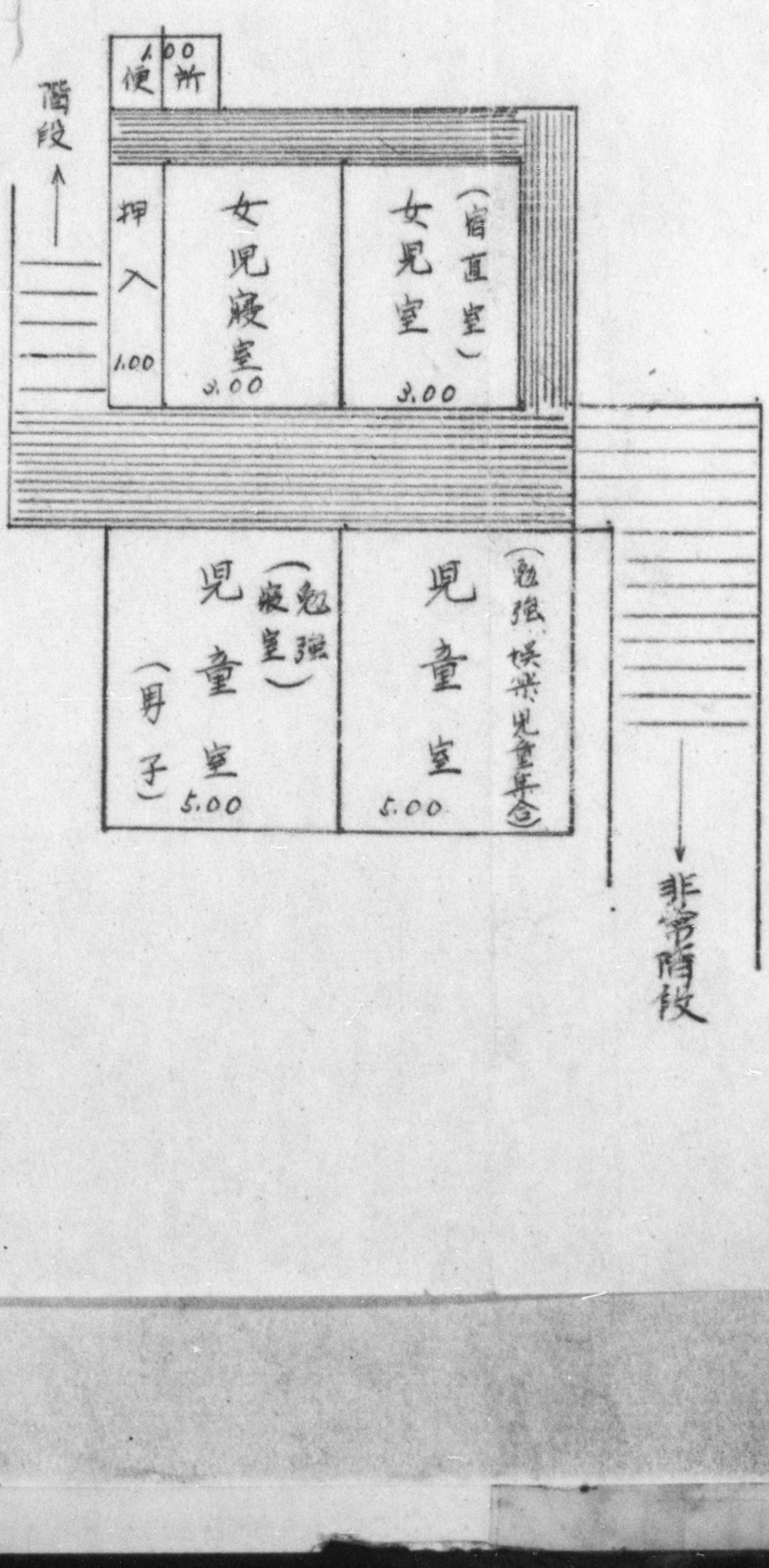


DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

茨城縣兒童保護所平面圖（階下）

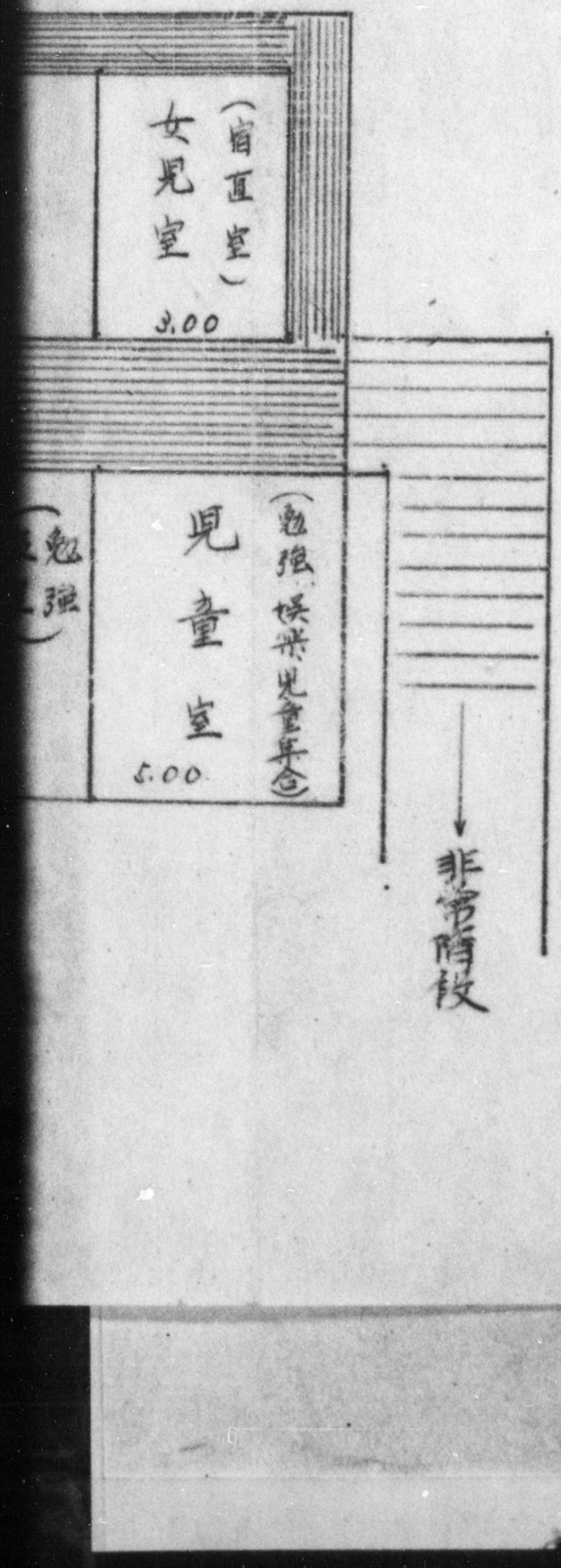


DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

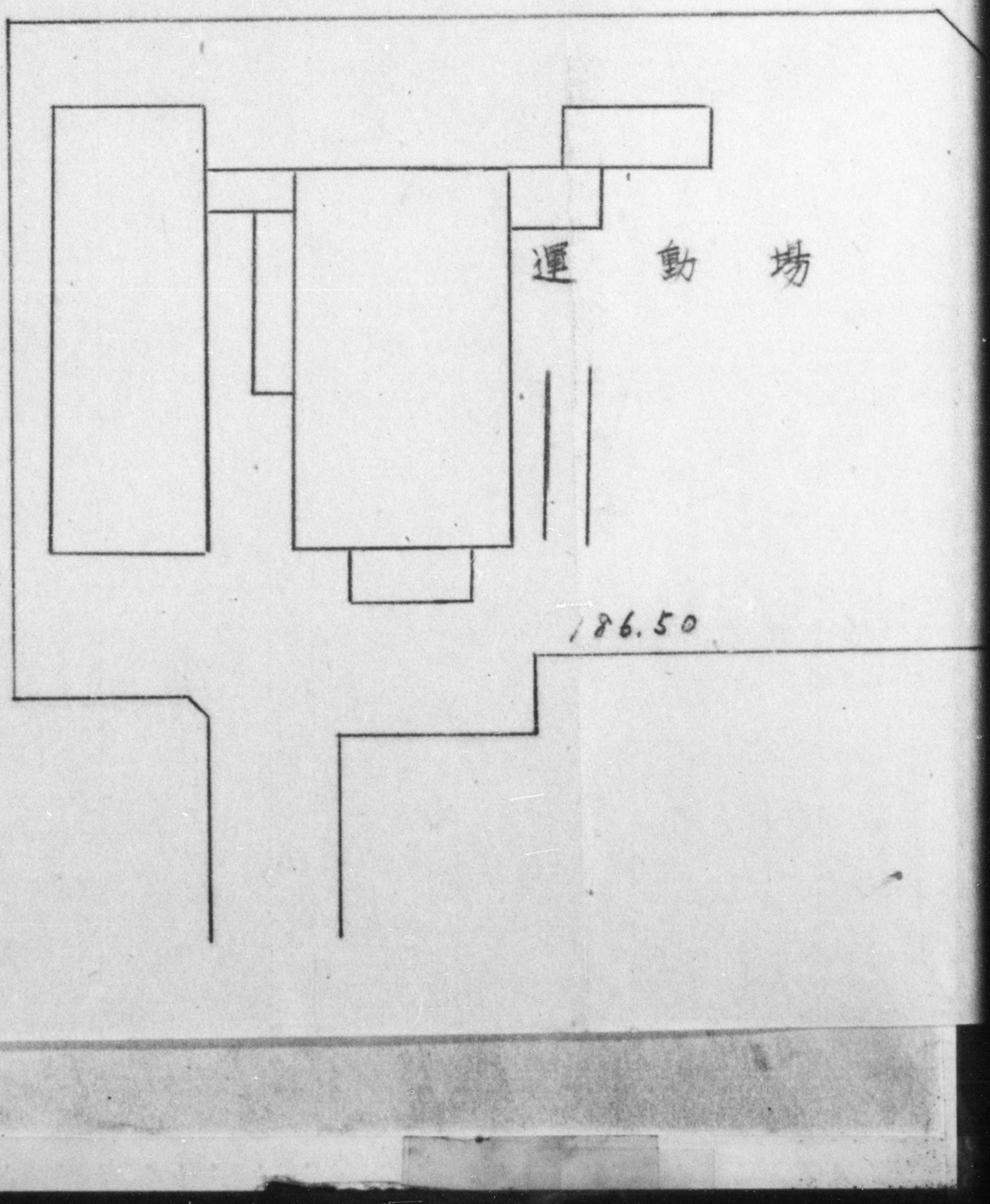


DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

茨城縣兒童保護所平面圖（階上）

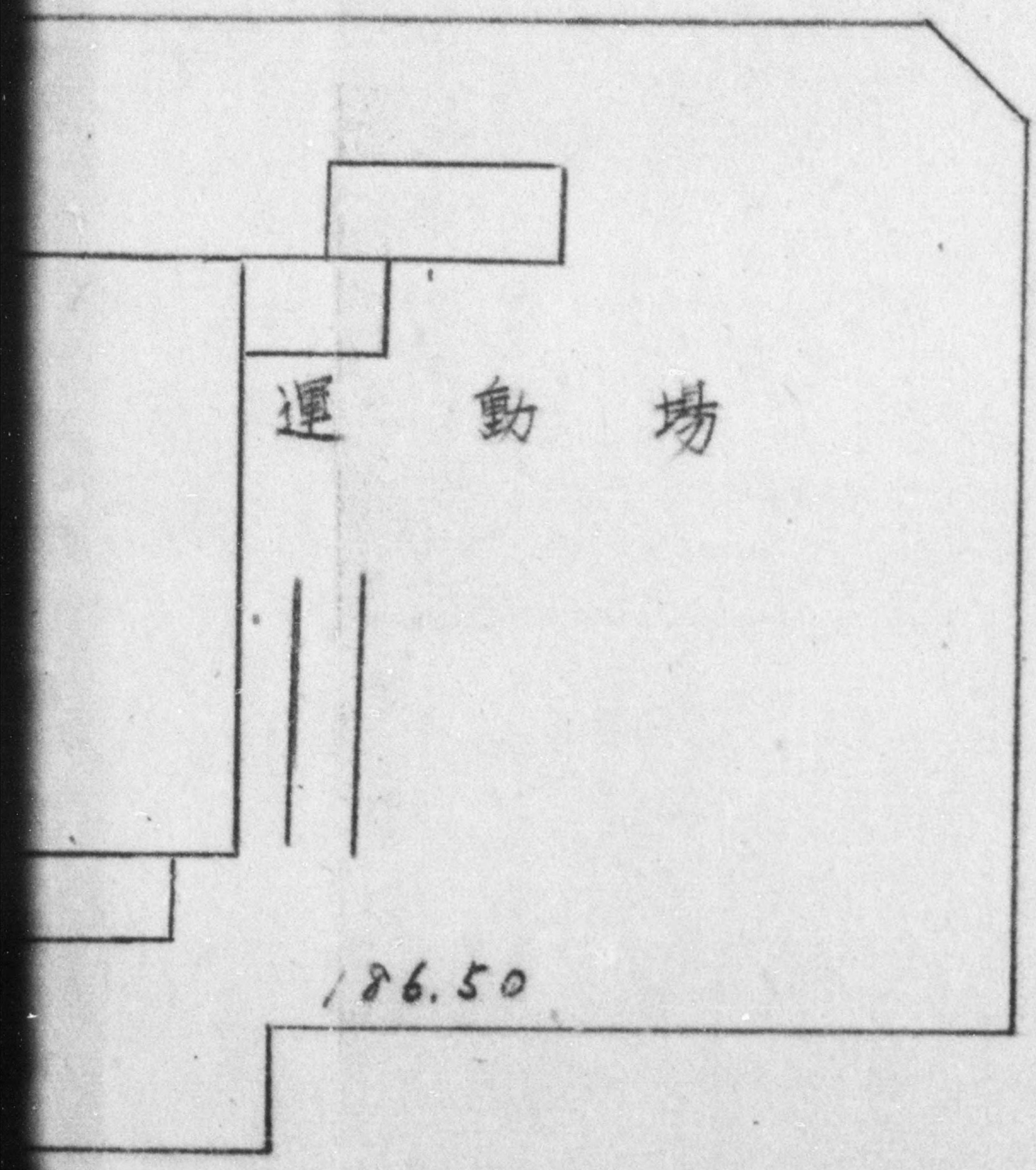


DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013



DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

茨城縣兒童保護所平面圖敷地



DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

茨城縣児童福祉協會調書

一、役員、職員表

會長	(縣教育委員会委員長)	鈴木春吉
副会長	(縣会議員)	横井ヤイ
仝	(縣婦人会幹部)	友末雅子
常務理事	(縣児童課長)	小沼次男
仝	(縣児童福祉審議会委員)	中村万作
仝	(仝右)	國井通太郎
監事	(住職)	塚越邦雄
仝		中野きよ
仝	(住職)	少早川大英
仝		大貫作十郎

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

2

主事	津川公治
幹事（縣児童課主事）	篠原治平
仝（仝右）	住谷齡嗣
仝（縣中央児童相談所長）	山元公道
理事	十九名
評議員	五十一名

二、會員表

水戸市	四八〇名
土浦市	一、四八一名
日立市	一、一〇〇名
東京城郡	一名
那珂郡	三七四名

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

3

行方郡	一、一一八名		
新治郡	二四三名		
筑波郡	四六五名		
真壁郡	一、三九四名		
結城郡	一九〇名		
西茨城郡	なし		
久慈郡	なし		
多賀郡	なし		
鹿島郡	なし		
稲敷郡	なし		
猿島郡	なし		
北相馬郡	なし		
計	六、六四六名		

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

4

三、縣職員にして協会役員たるもの

縣児童課長　小沼次男

協会の「常務理事」として、理事会から委任された会務執行の任に当り、事業の運営実施の責任をもつてゐる。

縣児童課主事　篠原治平

協会の「幹事」として、協会の事業施策の相談にあづかり、実施について協力している。

縣児童課主事　住谷齢嗣

右に同じ

縣中央児童相談所長　山元公道

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

5

右ニ同じ

四、昭和二十四年四月一日以降の会議

(一) 懇談会

1. 期日 昭和二十四年四月十六日

2. 会場 蒲城軍政部

3. 討議事項

A. 難児童福祉協会設立の経過の実状を軍政部へ説明し、諒解を得ると共に、これについて軍政部ウオムプラー氏の意見も兼ねる。

(二) 評議員会

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

6

1. 期日　昭和二十四年五月十八日
2. 会場　水戸市南三の丸、縣中央児童相談所
3. 討議事項

A. 本会は共同募金の受益団体として加入し、昭和二十四年五月三十一日を以て本会としての会員募集を中止し、それ以前の應募会員だけを昭和二十五年三月三十一日まで本会員とすること

B. 五月三十一日以前に應募した会費は、既定の方針によって本会の昭和二十四年度予算に繰入れて、事業資金にあてるため、五月三十一日までに納入整理をすること。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

7

C. 縣下市町村も児童福祉協会を創設させ、本会と有機的な関係を保つと共に、六月以降は独自的に地元で会員を集め、積極的に運営するよう連絡指導すること。

(三) 理事会

1. 期日 昭和二十四年十一月二十九日
2. 会場 芦城縣
3. 討議事項

A. 有子未亡人の子供についての福祉増進を図ると同時に、未亡人家庭の生活平和を促進するため、その母に職業輔導と授産

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

8

事業を考慮すること、

B. 日立市児童福祉協会の会員募集
ラッパの整理と児童遊園地の設備
助成を本会として考慮すること。

C. 鞍内各市町村に「こども会」をあまね
く結成させると同時に、その市町村の
PTA、婦人会員等がこれに協力援
助するよう連絡すること。

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

Incl 4

The List of the Ibaraki Prefectural Child Welfare Center Staff.

Name	Position	Rank	Regular salary	Age. Degree of education	Date of employment	Personal history up to date (The number of years undicated in brackets show the term of serv[illegible])
Kedo Yamamoto	Clerk, Chief of the Center.	2nd class	No. 10-1 ¥7,857 (per month)	37. Graduated from the Literature Dep't., of Tokyo University.	May 17, 1948.	Japanese social work college Student of social works. (one year) Each Social Section of the Kanagawa. (one year) and Nagano Prefectural Governments (2 years) Child Section, Social Bureau, Welfare Ministry (3 years) Welfare Sect., Ibaraki Prefectural Gov't. (2 years) Assistant chief of the Liaison Bureau of the Ibaraki Prefectural Gov't. (2 years)
Michio Aoyagi	Clerk, Consultant and judge.	"	No. 8-7 ¥ 7,018	38. Graduated from the Ibaraki Normal School.	Mar. 3, "	Teacher of a primary school (8 years) Head teacher of a primary school (5 years) Education Sect., of the Ibaraki Prefectural Gov't. (4 years)
Masahiro Murata	"	"	"	41. "	"	Teacher of a primary school and a middle school (10 years) Head teacher (6 years) Social

						Social Education Sect., Ibaraki Prefectural Gov't. (3 years)
Shoichi Isaka	Clerk, Consultant and judge	3rd class	No. 7-6 ¥ 5,925	37. Graduated from the Laws and Literature Dep'ts., of Nippon University.	Sept. 30, 1948.	Teacher of a primary school (11 years) Member of the Japan Publication Assoc. (4 years) Clerk of a public works and construction compahy. (2 years)
				28.		
Midori Omori	"	"	No. 6-4 ¥ 4,863	Graduated from the Ibaraki Prefectural Girls' Normal School.	"	Teacher of a primary school (6 years)
Minoru Otsu[illegible]	Clerk.	"	No. 6-3 ¥ 4,72[illegible]	30. Graduated from the Ibaraki Technical School.	Mar. 31, 1948.	Manchuria Electric Industry Co. (one year) Ibaraki Prefectural Town and Villages Association (one year)
Ken Shirahata	Technical official, Doctor	2nd class	No. 10-6 ¥ 9,573	65. Completed the Medical Dept., course of Tokyo University.	May 25, 1948.	Saitama (4 years), Miyagi (2 years), Aomori (2 years), Toyama (5 years), Saga (8 years) and Tokushima (2 years) Prefectural Governments. Mental course class roo[illegible] of Tokyo University (4 years)and epidemics seminary room of the same university (1 year) Chief of Health Sect. of Mito City(4 years) Chief of Health Center (2 years)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 773 013

Fukujiro Miyata	Part-time official, Consultant and judge.	Treated as the 2 nd class official	No. 8-8 ¥ 7,219	63. Graduated from the Ibaraki Prefectural Normal School.	Mar. 31, 1948.	Technical official and chief of prefectural health sections. Teacher and principal of a primary school (4 years) Instructor of Ibaraki Prefectural Normal School (16 years) Ibaraki Prefectural School Inspector (2 years) Chief of Bureau of Ibaraki Prefectural Education Association (14 years)
Yoshio Shimojyo	Part-time official, Leader.	Treated as 3rd class official	No. 6-2 ¥ 4,468	40. Completed the Minami-Kawane-mura Primary School course.	July 25, 1948.	Clerk in charge of personnel affairs of Hitachi Plant of Hitachi Works (7 years) Clerk in charge of personnel affairs of Dairen Pier Bureau of Santh Manchuria Railway Co. (6 years) Clerk in charge of personnel affairs of Kanto Ship Building Co. (2 years)
Riki Sonobe	Technician, Nurse	Employee.	No. 5-2 ¥ 3,667	28. Graduated from the Aikoku Midwives' school. 23.	May 30, 1948.	A hospital nurse (11 years)
Akino Omori	Asst. clerk.	"	No. 4-4 ¥ 3,466	Completed the Sugaya-machi higher primary school course.	Sept. 30, 1948.	Ibaraki Prefectural Federation of National Health Insurance Association (4 years) Insurance Section of Ibaraki Prefectural Gov't. (1 year)
Mitsu Sakabe	Asst. office-boy.	"	No. 1-4 ¥ 2,613	20. Graduated from the Ibaraki Middle School.	Sept. 1, 1948.	None.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 773 013

Makio Aida	Asst. servant.	Employee	No. 5-8 ¥ 4,344	63. Completdd the Mito Higher Primary School course.	Mar. 31, 1948.	Prss-man (40 years) Servant of Mito Plant of Hitachi Works (3 years) Servant of Katsuta mothers' home (2 years)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 773 013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

IBARAKI-KEN CENTRAL CHILD WELFARE CENTER

SUBJECT: Results of the inquiry made into the delinquent children.

(1) Target of the inquiry:

Those delinquent children such as those sent into this child welfare center from police station or family court during the period from June 1st 1949 (the Juvenile Delinquent Law and the child welfare law revised on this day) to No. 30 1949.

(2) Statistics:

1. Monthly chart on children interned into this welfare center.

Month From where they sent.	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Total
Police Station.	0	12	30	39(5)	30(8)	34(5)	145(18)
Family court.	0	0	0	3(1)	3	7	13(1)
Total	0	12	30	42(6)	33(8)	41(5)	158 (19)

Remarks:

Figures put in parentheses show the girls' number restated.

2. Survey classified by school year and criminal case.

Age Sex	Below 6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	Total
Male	1	2	7	9	10	9	14	23	28	23	5	4	4	139
Female	0	1	0	0	3	2	1	2	6	3	0	0	1	19
Total	1	3	7	9	13	11	15	25	34	26	5	4	5	158

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

3. Survey classified by school year and criminal case

Criminal case	School year	Pre-school children	1st year of primary school	2nd "	3rd "	4th "	5th "	6th "	1st year of middle school	2nd "	3rd "	Fini-shed from Higher Primary school	Leave middle school	Total
Larceny		1	2	9	10	13	23	22	25	8	4	3	120	
Swindling								1					1	
Threat								1	1	1			3	
Embezzlement						2							2	
Disturbance of railway service	1	3	4	4	2		1	2	1	1			19	
Injury							1	1	2				4	
Murder								1					1	
Violationof gun control regulation										1			1	
Violation of food-stuff control regulation											1		1	
Arson		1	2		1	1						1	6	
Total		2	6	6	13	12	15	26	28	29	11	5	4	158

4. Survey of state of crimes classified by cases.

State	Case	Larceny	Swindling	Threat	Embezzlement	Disturbance of railway service	Injury	Murder	Violation of gun control regulation.
Single-handed	56	1	0	2	0	1	0	1	
Mass	64	0	3	0	19	3	1	0	
Total	120	1	3	2	19	4	1	1	

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

violation of food-stuff control regulation	Arson	Total
1	2	64
0	4	94
1	6	158

5. Action taken to criminal children classified by sex.

Sex	Action taken Sexual	Protected under guidance of "Jido-iin"	Admission for protection: Home for Juvenile training & education	Home for dependent neglected & abused Children	Total	Bring under care of foster parent	Temporaly protection.	Total
Male	119	11	2	13	1	6		139
Female	16	2	1	3	0	0		19
Total	135	13	3	16	1	6		158

6. Survey of home condition.

Sex	Whether they have parent or not	Parents both in good health	Defective Homes: Step-father and own mother	Step-mother and own father	Own mother and no father	Own father and no mother	Both step father and mother	No parents
Male	73	23	12	10	6	2	13	
Female	10	2	1	2	1	1	1	
Total	83	25	13	13	7	3	14	

Those bring up children in details: Grand father and mother	Relation	Acqueintance	Total	Grand total
(8)	(4)	(1)	66	139
(1)	(0)	(0)	9	19
(9)	(4)	(1)	75	158

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

On management of the foster-parents system.

The system on foster-parents will be carried out at the command of chief of the central child welfare center in the prefecture under strictly observing the regulations mentioned below:

? - Child welfare law, article 27 item 1 clause 3.
Child welfare law, article 30 item 1 clause 3.
Child welfare law, enforcement provision article 27 and 28.
Child welfare law, enforcement provision article 31, 32 and 33.
Child welfare law, detailed stipulation article 16 and 17.

Check sheet } Notification from Welfare Ministry on enforcement of child welfare law dated March 31, 1948 and instruction by the ministry on management of the foster-parent system dated October 4, 1948.

1. Those who disire to foster child.
   1) In the event of that the person came to the welfare center.
      Official in charge of the foster-child will attend to handle the matter properly and let the applicant to submit the paper.
      (The form of the paper is attahhed)
   2) In the event of that the application was made by letter.
      A thorough explanation to be made to applicants.
   3) The official in charge of foster-child to be noted the matter to thir book.

2. Investigation over the family condition of the Applicant as foster-parents (child welfare law, enforcement detailed stipulation article 16 and 17)
   An investigation to be made in accordance with the home investigation paper.
   (As per enclosed)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

1) When the investigation to be made by officials in charge of the foster-parents.

A. Directly visiting to the home of Applicants.
B. Get information concerning their character and others related to applicants.
C. Get information from child committee members.
D. Get information from district office and police box.

a. On family registration concerned and their property to be investigated at district office while other factors such as their character and reputation among neighbourhood to be collected through police detachment.

2) When the investigation to be made through officials in charge of child welfare.

When applicants living at neighbourhood of the official in charge of child welfare, investigation to be made by the official.

3) Adjustment of home investigation card.

Opinion of chief of child welfare center to be taken up after scrutinizing by the conference.

4) Important points for investigation.

a. Investigation to be made impartially.
b. Detailed conditions of both parties must be carefully investigated.
c. Family condition of foster parents must be carefully investigated.

3. Report to Governor. (Enforcement provision article No. 16 of child welfare law.)

The report to governor must be prepared 2 sheets and 1 to be sent to Governor while the other to be kept by the office.

Governor will make request to the council of child welfare for scrutinizing of it which to be held monthly.

4. Scrutinization at the council (foster-parents committee)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

1) Every data on foster-parents to be given by the child welfare center.

2) Decision to be made inpartially.

3) If the decision to be reserved, further scrutinization of the matter may be asked to the council.

5. Registration of foster-parents.

Governor will make report to foster-parents when registration is completed the applicants will become formal foster-parents when registration is completed.

6. Foster-child.

1) Selection of foster-child.

A. The child to be selected by the council and will be kept at the protection home until a proper applicant to be appeared. ?

B. The official in charge of child welfare must be inspected the protection home and other facilities at least once a week. ? who

C. Each facility should send the list of candidate for foster-child to the center and selection for foster-child will be made at the center.

D. In selection of the candidate for foster-child, the following item to be firmly observed viz. the child must be at condition of normal sentiment and character. who if formely skilled for handicapped

7. Interview by the foster-parent and child.

1) Interview must be made at the protection home in presence of an official of the center. who & when

2) Consulation by foster-parent and the official.

Through consultation to be made between foster-parent and the official official on candidate of foster-child.

8. Intrust of child to foster-parent.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

1) A proper procedure to be taken when the matter is agreed by both parties the form of the paper attached separately.

2) The report will be sent to governor attaching an opinion by chief of the center.

3) Duplicate of the child investigation card to be kept by the official in charge of the matter together with the papers relative to foster-parent.

4) Governor's notification to foster-parent to be made in accordance with the report by child welfare center.

5) Duplicate of the notification to be forwarded to the officials concerned by central child welfare center.

9. Expenses for entrusting foster-child.

It is stipulated to pay ¥ 44.80 daily to foster-parent as expenses of each foster-child.
However, the amount or free of subsidy as expenses to be fixed at the time of application.

10. Guidance to be made to foster-parent.

1) In case of infants guidance to be attended by official in charge of child welfare.

2) In other case guidance to be made directly by the center.

3) Record of guidance given must be reported to chief of the center.

11. Stoppage for entrusting of foster-child.

1. When it was found as inproper to continue for entrusting foster-child or negligence of duty by foster-parent, entrusting may be stopped.

2. In the case that the foster-parent attached by serious disease or unavoidable happening which prevented him to look after the condition of foster-child, entrusting may be cancelled. In above cases chief of the center must notify it to Governor.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

12. Family registration of foster-child.

Foster-parents, if desired, are admitted to take a proper procedure for enlisting their foster-child as their own family member after passing 6 months from entrusting.

13. Foster-parents for day-time.

The system is not yet actually practized may be due to lack of knowledge among general public. However, it is a keen matter to be developed for the sake of war widows or others.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

1. Receiving of an application for becoming a foster-parent: On Sept. 1, 1949 (No. 84)

2. Inquiry into foster-parent:

This inquiry was made by part-time official Miyata on Sept. 20, 1949 as follows:

Foster father: Sakunosuke Miyabe aged 39 (grade of education: Higher Primary School)

Foster mother: Asa Miyabe aged 39 (grade of education: Same as that of her husband)

Address: No. 2,915, Naga-cho, Isohama-machi, Higashi-Ibaraki-Gun.

Occupation: Factory worker.

Living condition:

Their dwelling house is on a hill, very good place. Mother cultivates a little farmland.
In short, their family is one of the middle class families.

Characters of parent:

Father: Dilight and truthful.

Mother: Sympathizing, positive, and in favor with her neighbors.

Motive and hopes:

They have no child.

3. Talk on applicant:

It was approved of at a Child Welfare Council meeting that the applicants had to become a good foster parent.

4. Permission of registration as foster-parent:

On Nov. 4, 1949 (No. 66)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

5. Entrusting of a foster-child.

Yutaka Takamatsu was decided to become the applicants foster child as the result of discussion at a foster-child entrustry meeting.

(1) Matters on the foster-child:

Date of birth: On Jan. 1, 1949 (supposed)

Address: Nursing room of Mito Welfare Hospital.

Career: He was found abandoned in front of Nishi Mothers' House in Hitachi City on Mar. 1, 1949.
On May 5, Jido Fukushi Shi, a Child Welfare worker took a procedure of putting him under care of the said nursing room.
Those in charge of Mito City Office made their effort to find his real parent but in vain.

Health: Weight: About 4 kg.

Length: About 52.7 c.m.

Very well.

Name: He was named Yutaka Takamatsu at Hitachi City Office.

Meeting of foster-parent and foster-child:

On Nov. 17, 1949, the foster-parent met the foster-child at the said nursing room and asked those in charge of the room to entrust it to them.

Entrusting of the child:

The child was entrusted to the foster-parent on Nov. 20, 1949.

Order of entrusting:

This order was given by prefectural governor on Nov. 20, 1949 (No. 51)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

6. Progress afterwards:

Hapily the foster-parent have been nursing their child.

Its health is very well. Ueki (Jido Fukushi Shi or Child Welfare worker) called on them to give necessary guidance on Nov. 16, 1949.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

(Circumstances of the entrusting of Takako Himi's care)

1. Receipt of an application for a foster-parent: Nov. 11, 1949 (No. 27)

2. Investigation of foster parents: Clerk Aoyagi investigated the home of the following fosterparents on January 1949.

Name of foster-father: Kingo Sumida, 36-year-old, a middle school graduate.

Name of foster-mother: Mitsue Sumida, 30-year-old, a girls' high school graduate.

Address: 2025, Oaza-Ishioka, Ishioka-machi, Niihari-gun.

Occupation: Farmer, Head of Ishioka Land Development Group.

Living conditions: The above persons are now cultivating a land of 2.1 cho, keeping 15 pigs and about 30 hens and have a lot of 100 tsubo with a main house and a wheat-gluten plant. Three years ago they settled down at the present residence and now have an income of about ¥ 200,000 a year through a diversification of agriculture.

Disposition: The foster-parent is a constructive, hard-working, bright and warm-hearted man. He, who was brought up as an adopted child and toiled hard, has a wide experience in operating a farm or an orchard. Now he is chosen head of a land development group consisting of about 50 houses. The foster-mother is a bright, well-educated woman. They have no children and wants a child.

Motive and wishes: They have no children and wish to bring up an unhappy child such as an orphan, promissing that they will adopt the child as their heir. For this reason they were considered qualified for foster-parents.

3. Deliberative meeting on foster-parents: (Feb. 15, 1949)

As the result of a deliberative meeting on child welfare, they were qualified for foster-parents. (Miyata)

4. Registration of qualified foster-parents:

Registration No. 22 Registered Feb. 15, 1949 (Miyata)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

5. The leaving of a foster-child:

As the result of a consultation on the leaving of a foster-child, Takako Himi was qualified for a foster-child.

a. Affairs concerning the foster-child, Takako Himi.

Name: Takako Himi, born July 13, 1938.

Address: Childran's Home, Nukada-mura, Naka-gun.

1) Her father is missing and she is an illegitimete child of her mother who died of tuberculosis in 1940. After her mother's death, she was relieved by Kyoji Yamada, Director of the Tokyo Stall-keepers Association.

Afterwards Yamada sufferred war damage and his family was broken up, and she was admitted to a protection home in tokyo as a gutter-child, but she escaped from it soon.

In 1946 she was found around Ueno Station by Michio Suzuki of the Childrens' Home and has been brought up by him until now.

2) Disposition and mental faculties:

She is a bright, active and familiar girl, and disposed to take a kindly interest in others.

Index of mental faculties: 93

Judgement and thinking power: Ordinary

Now she is a monitor and has no deliquent tendency .

3) Physical conditions:

Growth: Ordinary

Girth of chest: A little below the average.

Tuberculin reaction: 10

Result of X-rays examination: Normal (Mito Health Center)

As she looked a little pale, we made her undergo a health examination. And the result of the examination showed that she was suffering from roundworms, so we presently exterminated them.

b. The foster-parents' interview with the foster-child. (Feb. 2, 1949)

The foster-mother, Mitsue Sumida interviewed the foster-child Takako Himi in the presence of clerk Miyata, Aoyagi and the present fosterer Michio Suzuki, and they talked in a friendly way. Aoyagi and Suzuki specifically reported on the conditions of the foster-child. And Mitsue Sumida expressed her wish to foster Takako Himi as they were satisfied with each other's desired conditions.

c. The taking in of the foster-child: Mar. 29, 1949.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

d. Fostering order: Apr. 1, 1949 (By the Prefectural Governor)

6. Progress up to date:

The foster-child is in good condition and the foster-parents also are very glad. On April 20 and May 15 Sumida, a child welfare official, visiting the foster-parents' home, guided the foster-child. Part-time official Shimojo also visited the home on June 12. Both the foster-parent and foster-child, visiting our office, reported on their happy life on August 2. Now the hoster-child is a good student and very happy under the proper and affectionate guidance. A photo commemorating the new life was presented to the foster-parents.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

1. Name of child:

Eiji Miyashita. (born March 3, 1922, 13 years and 10 months old)

2. Address:

230 Oaza-Kamiisehata, Isehata-mura, Higashi-Ibaraki-gun.

3. Circumstances of case:

On August 23, 1949, a member of the Children Welfare Board, a village office clerk and Moto Miyashita, aunt of above individual accompanied him to own office to consult about the preventionof his deliquency. And it was decided that he be temporarily protected and precisly observed, but his aunt proposed that he be formally protected.

4. Home environments and childhood.

His father Tsuguo Miyashita, was had been working at a ice company in Kawasaki City, died of disease in the war in 1945. He was a practical and deligent man. His wife Fumi Miyashita went back to her parents home with her five children.

In August, 1948, of the five children, elder three, Eiji, 13, Shizue, 10 and Kimiyo, 9 came to be taken care of by their father's brother Shonozuke Miyashita and the others by their mother's parents. Shonosuke Miyashita is a poor farmer with only about 3 tanbu of land and getting a living aid for bringing up the three children.

Before the war these children had been well off, but their fathers' death was a severe blow to them.

Moreover, the sudden change their life environments from a thriving city life to a weary village life had a social influence upon them by these circumstances.

Affected the child in question, who was them a 2nd year student of a middle school, was apt to be absent from school.

5. Records of consultation and observation:

1. Deliquencies.

a. Pocketing money (several times)

b. Stealing money from a neighbour (3 times, ¥ 100 to ¥ 500)

c. Wasting money (Buying sweets, standing a thing for friends)

d. Playing hooky

e. Telling many lies.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

2. Cause of disposition.

a. The stealing was caused by a sense of severe lack.

b. It is clear that he has been dissatisfied with his home and not adequately guided by his family.

c. His home let him have his own way.

d. He has been suffering from a sense of self-reproach after doing wrong.

e. It seems that his mind is confused by the sarious change of life.

f. He failed in school life. (He could not because intimated with his classmates)

g. An unaccustomed farm-house task was a burden to him.

h. He could not become intimated with his home school and neighbours. He could meet his dissatisfaction only with such a wrong means as wasting money.

3. Physical conditions:

a. Growth: Ordinary (Height: 112.5 m weight: 28.3 kg girth of chest: 62.3 cm.)

b. Nourishment: Under nourished and pale.

c. Nervous disease: None

d. Motor faculty: Enough (He is a handy boy)

4. Character and disposition:

a. Bright and cheerful.

b. Speech and manners: Clear and quick.

c. Moral judgement: Ordinary.

d. Feeble-minded, impulsive, active. — ?

e. Sensitive.

f. He strongly reflection his conduct and is obedient.

5. Mental powers: IO 108, above the ordinary mental power .

As it was made sure that both his mental power and character were sound, we thought that he must be observed for a long time.

Records of observation of behavious: (No. 1)

a. Record for about 11 days from the beginning of the temporary protection to September 2)

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

1. Uneasy and shy.

2. Faithful. (He always earnestly pursue his responsible work.)

3. Kind to friends.

4. A look of relief and satisfaction came over his face on about August 28.

5. He seriously reflect on his deliquencies.

6. He became to tell truth to the facalty.

7. He dislikes to return home.

As he is a ordinary type of child, it is unnecessary for him to enter the Home for Juvenile Training and Education. It is considered proper to leave him with a foster-parent or the home for dependent, neglected abused children as his home environment is bad.

b. Observations from Sept. 2 to 10:

1. He seems to cheerfully enjoy life.

2. He has become desirous to study, reads books alone, works in something and likes painting.

3. He seems to wish for a affectionate home, wishes to become a carpenter.

4. He well takes care of little children and reflects on his conduct and apologizes when he has committed a fault.

6. Actions taken:

As the result of the investigation and observation of his behavious, it was decided that he be left with a foster-parent. On September 16, 1949 he was left with his foster-parent Yoshio Nagase, a joiner, Tashimo, Sodo-mura, Yuki-gun.

7. Guiding Principles:

a. An affectionate home is necessary for him.

b. He must be guided to be a carpenter in the future as he wishes.

c. He must be made to attend school regularly and a close connection must be kept with the school now that he vigorously desires to learn.

It is desireous that he should be well attended to his adoption will be possible in the future.

8. Progress up to date :

On October 22 and December 30 we received a letter from him informing his happy daily life and school record.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

THE CASE IN RELATION TO HIDEAKI YOSHIWARA,
Foster-child.

1. Accepted date of the application for child to foster:
May 20, 1949

2. Date of investigation made on foster-parents:
By clerk Murata on June 11, 1949

Foster-parents:

Father: Kenji Tsuyukubo, 56 years old, graduate of agricultural school.

Mother: Sueno Tsuyukubo, 55 years old, finished primary school course.

Address: 2,180, Kamiose, Ose-mura, Naka-gun.

Occupation: Agriculture.

Living conditions:

Conditions of their livelihood can be say favourable by possessing 8 "Tanbu" of cultivation field besides 5 "chobu" of forest and their house is neat and decent.
Persons who are living with the hosts are 4 in number as mentioned below.

T heir eldest son of 30 years old
Their eldest daughter of 27 years old
Elder brother of the host (73 years old)
Niece of the host (46 years old)

Characters of foster-parents and their careers

a. Foster-father:

Gentle and steady.
He had an experience as police officer at Metropolitan police board and Ibaraki Prefecture.
After retiring from the posts he has been living at his native place engaging himself as farmer.
He is possessing a good name among villagers.

b. Foster-mother:

Gentle and calm.
After finishing primary school course engaged to agriculture and later married with Tsuyukubo and got 2 sons and one daughter.

Motive to accept foster-child:

Motive to apply for accepting foster-child was that her children were already grown up and wished to foster a child in view of helping unfortunate children.

9

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

Future project:
Foster-parents are endeavoring to sent him to primary school and after finishing it, he shall attend to work with family

3. Foster parents council: June 15, 1949
The matter described as above was approved by the meeting of parents council.

4. Registration of foster parents:
Registered on June 15, 1949 and its number in 53.

5. Entrust the child to foster-parents:
Hideaki Yoshiwara was entrusted to Tsuyukubo family as foster-child by the decision of foster-child council.

The detail on foster-child:
Name: Hideaki Yoshiwara
Address: Hacho, Isa-mura, Makabe-gun.
Brief history of the foster-child:
He was found at the front place of Toride railway station by a woman called Kimi Ishida and was protected by the above Ishida. Later he was sent to the protection home.
His father was dead four years ago and mother is being a secret wife of Chu Tsurumi of the place.
He is now being kept at the Ibaraki poor house.
His character is gentle and good and bodily development is also favourable.

6. Foster-parent interviewed foster-child on October 10, 1949 at Ibaraki poor house.

7. Date of delivery: October 18, 1949

8. Order for foster-child: No. 47, October 30, 1949

9. Conditions after delivery:
Conditions of the foster-child is very good. Report from the Ose-mura village office are as follows:
(1) Bed-wetting is getting far less than the time at poor house.
(2) Some time he spent money for nonsense which called attention by foster parents.

10

Survey on foster-parent system.

Registration Conditions By Occupations.

From 1948 to Dec. 1949.

Occupation	Registration			Rejected	Reserved	Not yet deliberated	Total	Percentage
	Registered	Cancelled	Balance					
Agriculture	24	1	23	2	2	5	9	71
Commerce	14	2	12	2	4	1	7	63
Industry	1		1					100
Doctor								
Religionist	6		6					100
Fisherman	2	1	1		1		1	50
Writer	1		1	1		1	2	33
Barber	3		3	1			1	75
Public servant	12	1	11	1	2		3	79
Clerk	7		7	1			1	88
Worker	8		8	5			5	62
Others	2		2		1		1	66
	80	5	75	13	10	7	30	
		1 city		1 city	1 city			

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

Conditions of entrusting children's care

	The year of 1948	Monthly condition 1949									
		Apr.	May	June	July	Aug.	Sept.	Oct.	Nov.	Dec.	Total
Entrusted	11	3	10	7	2	7	3	4	4	10	61
Cancelled					1	5			2		8
Balance	11	3	10	7	1	2	3	4	2	10	53

(Rate of cancellation 14%)

Classification by age and sex.

Sex \ Age	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	Total
Male	1	3	2		3	2	5	2	4	1	1	2	7	6	1	1	1		42
Female	3	1	1			1	1	1	1		1	3	2	2		1	1		19
Total	4	4	3		3	3	6	3	5	1	2	5	9	8	1	2	2		61

Children entrusted to care of Foster Home & Number adopted

Cause	Sex Male	Female	Total	Remarks
Adoption	1		1	
Taken ~~in by a~~ protector	1	2	3	(1) Orphans whose parents were found. (2) Children taken in by their protectors as the result of a success. (3) Children taken in by their protectors who returned from formosa.
Bad conditions	There are reasons for removal			
Children's disease	1		1	
Caused by the foster-parent	1		1	
Due mainly to the child himself.	2		2	(1) The children who escaped. (2) The children whose bad habits came out.
Others				
Total	6	2	8	

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 773 013

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

A Survey on girls needed guidance and protection.

Ibaraki-ken Central Child
Welfare Center.

(1) The object of survey.

The survey was made to 122 girls handled at the office between May 1948 and July 1949.

(2) Statistics.

1. Investigation over the fact differentiated with their ages and categories and type of character.

Ages \ Categories	Laissez-faire type	Slap dashed type	Type of ossillation.	Vanity type	Mentally deficient type	Natural caracterestics	Other	Total
Below 14 years	8	3	7	0	3	3	0	24
Above 14 years	23	23	22	18	6	5	1	98
Total	31	26	29	18	9	8	1	122

2. Investigation over the index intelligence index differentiated with their ages.

Intellidence index \ Less 50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100	101-110	111-120	121 & above	Total
Below 14 years 3	2	3	5	3	7	1	0	0	24
Above 14 years 3	6	9	25	31	16	6	2	0	28
Total 6	8	12	30	34	23	7	2	0	122

3. Investigation over the fact whether they have an experience of sexual intercourse.

Whether they have an experience or not / Girls in child-home or not.	Had experience	Unknown	No experience	Total
Girls being kept at child-home facilities.	39	10	5	54
Girls not kept at child-home facilities.	40	4	24	68

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

Total	79	14	29	122
Percentage	64.8	21.4	23.8	

4. Sexual intercourse and ages.

Age	No. of person
12	2
13	4
14	6
15	13
16	23
17	18
18	13
Total	79

5. Survey on motives to have committed sexual intercourse.

Motives	Intimidation	Curiosity and temptation	By curious minded	By sexual impulse	By love	As a meen for living	Unknown	Total
No. of person	12	18	4	5	28	7	5	79
Persentage	15.2	12.8	5.1	6.3	35.4	8.9	6.3	

6. Survey over the objective for sexual intercourse.

Objective		Number of person	Percentage
With their lovers		29	37
Acquentances	Neighbourers	5	6
	Friends	14	18
	Protectors	17	21
With unknown person		14	18

7. Survey on places for sexual intercourse.

Place	Number of person	Percentage
Hotel	28	35
Home	4	5

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

House of the man	13	16
Acquentance's house	13	17
Out door	15	19
Other	6	8

8. Whether they are affected by venereal diseases or not.

If she is suffering with venereal disease		Number of person	Percentage
Affected with	Syphilis	14	17
	Gonorrpoes	27	35
	Total	41	52
Not affected		30	38
Unknown		8	10

9. Suvey on spiritual perturbation caused by sexual intercourse.

Perturbation	Fallen to seef abandon-ment	Possessed a souse of fear	Become impudence and wild	Enhanced curiosity	Caused a sense of revenge	promoted a sense of love.
Number of person	12	4	16	23	7	5

Repented	No speical change	Caused depressed in her charater	Unknown	Total
23	4	2	3	79

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

Break down of Administrative Structure of the Ibaraki Prefectural Child Protection Home.

Hirosaku Hosogai, chief, government official (7th grade, 9th class)

1. Supervision over general businesses.
2. Supervision over the whole members of the home.
3. Observation of children's daily life activities.

Ko Sonobe (1st grade, 6th class), government official.

1. Matters concerning children's admission to and whithdrawal from the home.
2. Observation of children's daily life activities.
3. Matters concerning meeting for actions to be taken for children.
4. Plan on child protection.
5. Matters concerning custody of children's belongings.
6. All matters concerning child protection other than being handled by other officials.

Tsunenori Gunji, Part-time official (6th grade, 7th class)

1. General affairs.
2. Matters concerning budget and accounting.
3. Matters concerning purchase and custody of goods such as provision and others.
4. Fire control.
5. All matters other than handled by other officials.

DECLASSIFIED E.O. 12065 SECTION 3-402/NNDG NO. 775 013

Yoshie Ohuchi, nurse (2nd grade, 6th class)

1. Matters concerning general health.
2. Medical treatment and nursing of children.
3. Survey of children's health condition.
4. Disinfection of children.

Teruno Suzuki, nurse (special grade, 4th class)

1. Matters concerning dressing of children.
2. Matters concerning clothes and bed-clothes of children.
3. Guidance of daily life giving to children.

Shima Fujisawa, kitchen worker (Special grade, 3 class)

1. Cooking for children.
2. Putting table wares in order and keeping them.
3. Matters concerning serving of dinner for children.

Tomoko Takano, kitchen worker (4th grade, 4 class)

1. Keeping book on provision and other stuffs received or delivered.
2. Reporting and inquiry.
3. Arrangement of various documents.
4. General affairs and accounting.
5. Assistant for cooking.